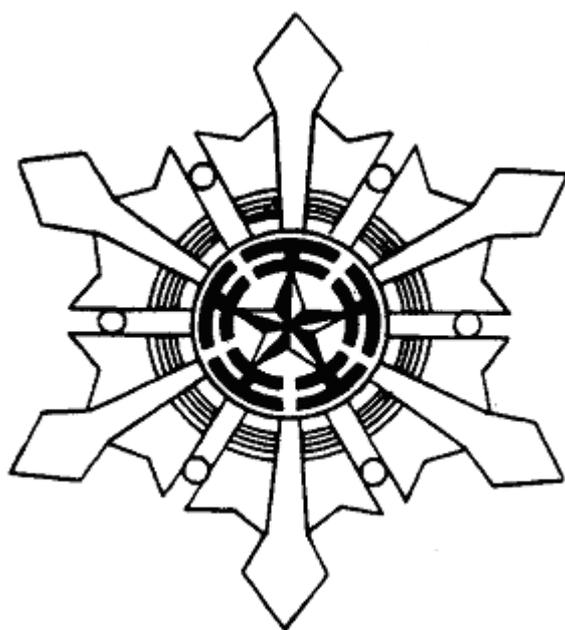


# 消防年報

平成29年版



江別市消防本部

## 市 章

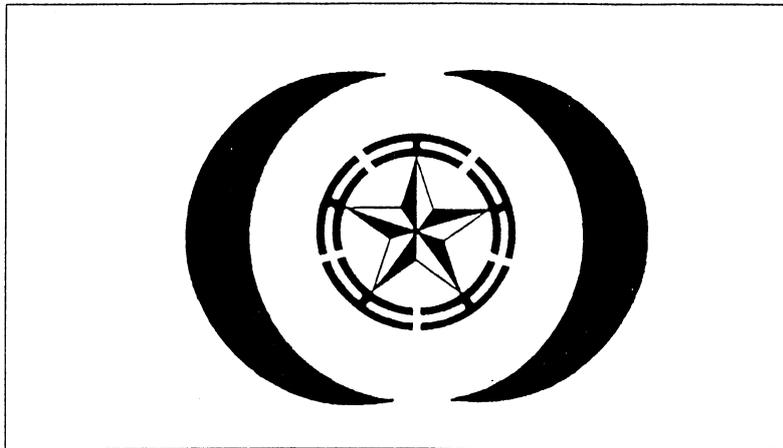


中央の星は、江別開拓の礎となった屯田兵をあらわし、これを囲む円は月をかたちどり、朝に星をいただき出て、夕べに月を仰いで帰る、勤労の精神を意味しています。

また、周囲のエは江別の頭文字であり、市民の一致協和をあらわしています。

市 章 制 定 大正13年10月24日

## 市 旗



市の紋章は、先人の伝統を意味し、これを囲む模様は、市民を意味するとともに、紋章を囲む円の広がり、未来に向かって飛躍する無限性をあらわしています。

市 旗 制 定 昭和43年5月25日

---

---

## は し が き

この年報は、平成29年中の江別市の災害、救急統計に基づく災害活動と平成30年1月1日現在の消防諸般の現勢を明らかにし、将来の消防体制の強化と火災予防活動上の参考として収録したものであります。

平成30年1月

江別市消防本部

---

---



# 目 次

## \* 庶 務 編

市勢概要	1
署所配置図	2
消防庁舎の概要	2
消防現勢総括表	3
平成29年度経常・臨時別分析表	4
平成29年度当初消防費予算（歳出）	4
消防機構図	5
消防職員配置状況	6
消防職員階級別年齢状況	6
消防職員階級別勤続年数状況	6
消防吏員各種資格取得状況	7
消防職員教育状況	8

## \* 予 防 編

危険物施設状況	9
危険物施設の許可・承認状況	9
建築物確認申請消防同意処理状況	10
政令対象物施設状況・防火管理者選任状況	11
階層別・業態別棟数表	12
各種届出状況	13
民間防火組織等状況	14
火災予防各種行事实施状況	15

## \* 警 防 編

消防自動車等の現勢	16
消防水利設置状況	17
市街地・準市街地等における消防水利の設置状況	17
主な消防用機械器具等保有状況	18
高機能消防指令センターシステム構成図	19

## \* 災害等総括編

月別災害等受付状況	20
過去3か年災害受付状況	20
月別災害等出動状況	21
過去5か年災害等発生及び出動状況	21
月別警戒等出動状況	22
地区別警戒等出動状況	22
月別救急支援出動状況	23
地区別救急支援出動状況	23
北海道広域消防相互応援協定に基づく出動状況	24
航空隊応援要請状況	24

## \*火 災 編

火災発生状況	2 5
平成 2 9 年月別火災状況	2 6
図 1 月別火災出火数	2 7
図 2 出火原因別件数と火災損害額	2 7
過去 3 か年原因別火災発生状況	2 8
用途別火災原因調査	2 9
火災覚知別状況	3 0
曜日別・出火時間火災状況	3 0

## \*救 助 編

月別救助出動状況	3 1
過去 5 か年救助出動状況	3 1
地区別救助出動状況	3 2
発生場所別救助出動状況	3 2

## \*救 急 編

救急活動	3 3
月別救急出場状況	3 3
過去 5 か年救急出場状況	3 3
曜日別救急出場状況	3 4
時間別救急出場状況	3 4
地区別救急出場状況	3 5
高速自動車道救急出場状況	3 5
年齢別救急搬送人員調	3 6
年齢別傷病程度別搬送人員調	3 6
医療機関別傷病者搬送状況	3 6
救急隊員の行った応急処置件数	3 7
応急手当普及講習会の開催状況	3 8

## \*消 防 団 編

消防団員数状況	3 9
消防団員階級別勤続年数状況	3 9
消防団員研修派遣状況	3 9
消防団員階級別年齢状況	4 0
消防団員出動状況	4 0

## \*消防の沿革

江別消防のあゆみと主な災害等	4 1 ~ 5 5
----------------	-----------

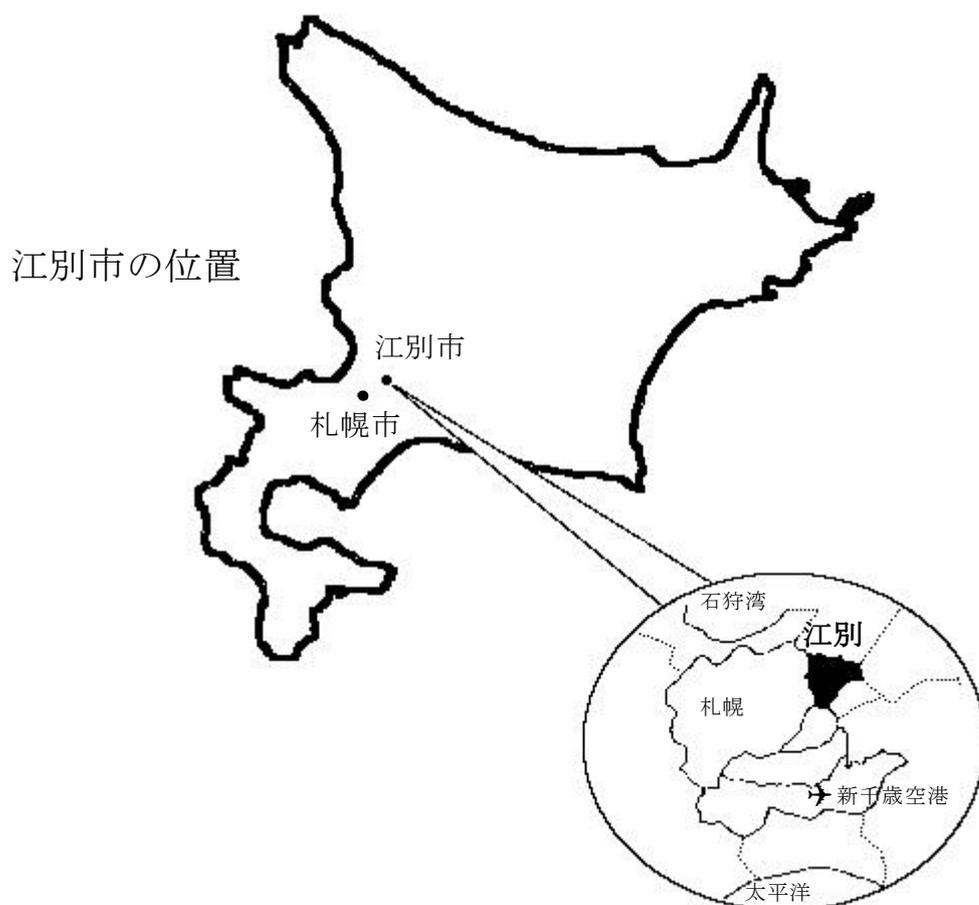
# 編 務 庶



消 防 本 部 庁 舎



# 市 勢 概 要



江別市は、石狩平野の中央部に位置し、東西約 17.3k m、南北 18.1km、総面積は 187.38k m<sup>2</sup>を有しています。地形は南端部の標高 93.0mが最高で、最低の湿地帯は北東 2.5mと全般的に平坦な地勢を形成しています。主流石狩川が市の北東部から北西部へと市域を貫流し、各支流河川と合流しています。南西の高台から北に連なる一連の火山灰埴土地帯は、肥沃な水田酪農地帯から市街地形成が進み、人口の集積地域として著しい発展を示しております。

◆ 位 置 (極東) 東経 141° 40' 20" (極西) 東経 141° 26' 52"  
(極南) 北緯 43° 00' 52" (極北) 北緯 43° 10' 13"

◆ 面 積 187.38k m<sup>2</sup>

◆ 人 口 118,999人 (住民基本台帳人口) 平成30年1月1日現在  
男56,574人 女62,425人

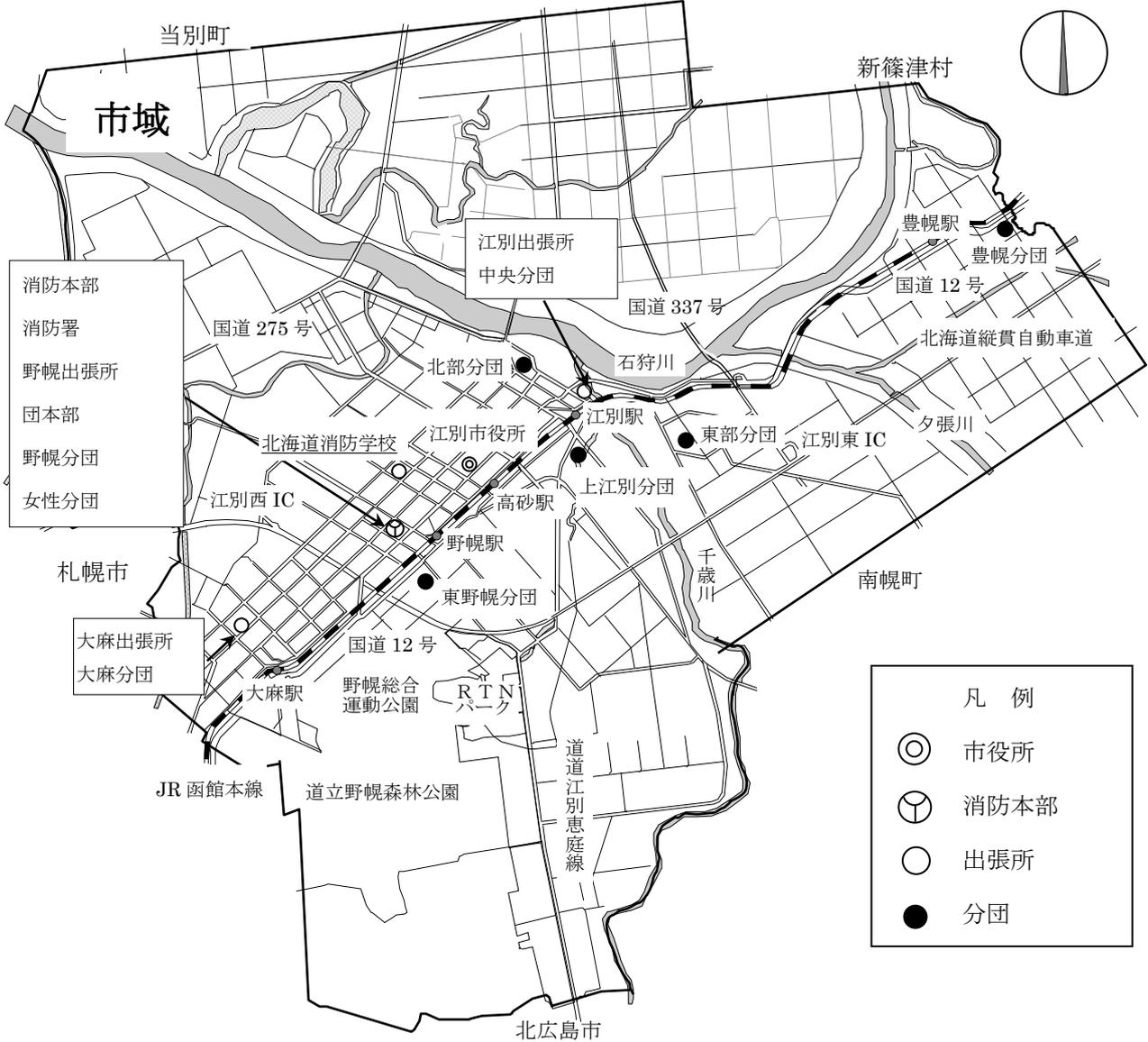
◆ 世 帯 数 56,564世帯

◆ 気 象 (平成29年) 観測地点：江別地域気象観測所=アメダスより  
平均気温 7.2℃ 最高気温 32.7℃ 最低気温 -21.7℃  
総降水量 951.0mm  
平均風速 3.2m/秒 最大風速 17.5m/秒

◆ インターネットホームページ

江別市のホームページ (<https://www.city.ebetsu.hokkaido.jp/>) から江別の消防のページへお入りください。

# 署所配置図



## 消防庁舎の概要

名称	所在地	構造	敷地面積 (㎡)	建築面積 (㎡)	建築延面積 (㎡)	建築年次
消防本部・署 (消防団本部)	野幌代々木町80番地の8	鉄筋コンクリート3階建 (一部4階)	5,461.81	1,235.00	3,554.00	平成4年
江別出張所 (中央分団)	3条1丁目1番地	鉄骨造2階建	889.25	334.75	516.75	昭和59年
野幌出張所 (野幌分団)	消防本部庁舎内					平成4年
大麻出張所 (大麻分団)	大麻元町192番地の3	鉄筋コンクリート 一部2階建	3,066.70	465.35	615.09	平成8年
北部分団	緑町東2丁目55番地の2	木造モルタル2階建	303.64	63.18	124.74	昭和46年
上江別分団	上江別南町1番地の25	木造モルタル平屋建	417.39	78.57	78.57	昭和46年
東野幌分団	野幌若葉町7番地の3	木造ガルバリウム2階建	337.70	121.50	130.68	平成24年
豊幌分団	豊幌686番地の10	鉄骨造平屋建	3,000.02	99.81	99.81	平成12年
東部分団	朝日町8番地の81	木造モルタル2階建	441.05	87.48	174.96	昭和53年
女性分団	消防本部庁舎内					平成4年

# 消 防 現 勢 総 括 表

消 防 本 部		1 本部	消 防 団	1 団	
消 防 署		1 署	分 団 数	9分団	
出 張 所		3出張所	消防団員	定 数	200 人
当初予算	一 般 会 計	43,950,000千円		実 員 数	194 人
	消 防 費	1,199,636千円	ポ ン プ 車	6 台	
	比 率	2.7 %	小型動力ポンプ付積載車	2 台	
消防職員	警 防 要 員	92 人	非常備消防車両	小型動力ポンプ積載車	1 台
	救 急 要 員	24 人		連 絡 車	1 台
	予 防 要 員	7 人		可 搬 式 小型動力ポンプ	11 台
	小 計	123 人		※ 自衛消防隊の車両については非常備消防車両に含めた。	
	その他の要員	7 人			
	合計（実員数）	130 人			
	定 数	130 人			
常備消防車両	ポ 自 ン動 プ車	4 台	※ 自衛消防隊の車両については非常備消防車両に含めた。		
	はしご自動車	1 台			
	化学自動車	1 台			
	救急自動車	4 台			
	指 揮 車	1 台			
	大型水槽車	1 台			
	災害情報支援車	1 台			
	救助工作車	1 台			
	広 報 車	1 台			
	災 害 支 援 車	1 台			
	連 絡 車	2 台			
小型動力ポンプ積載車	3 台				

平成29年度 経常・臨時分析表

(単位：千円)

予算総額	経常経費			臨時経費		
	予算額	特定財源	一般財源	予算額	特定財源	一般財源
1,199,636	1,090,801	6,208	1,084,593	108,835	92,640	16,195

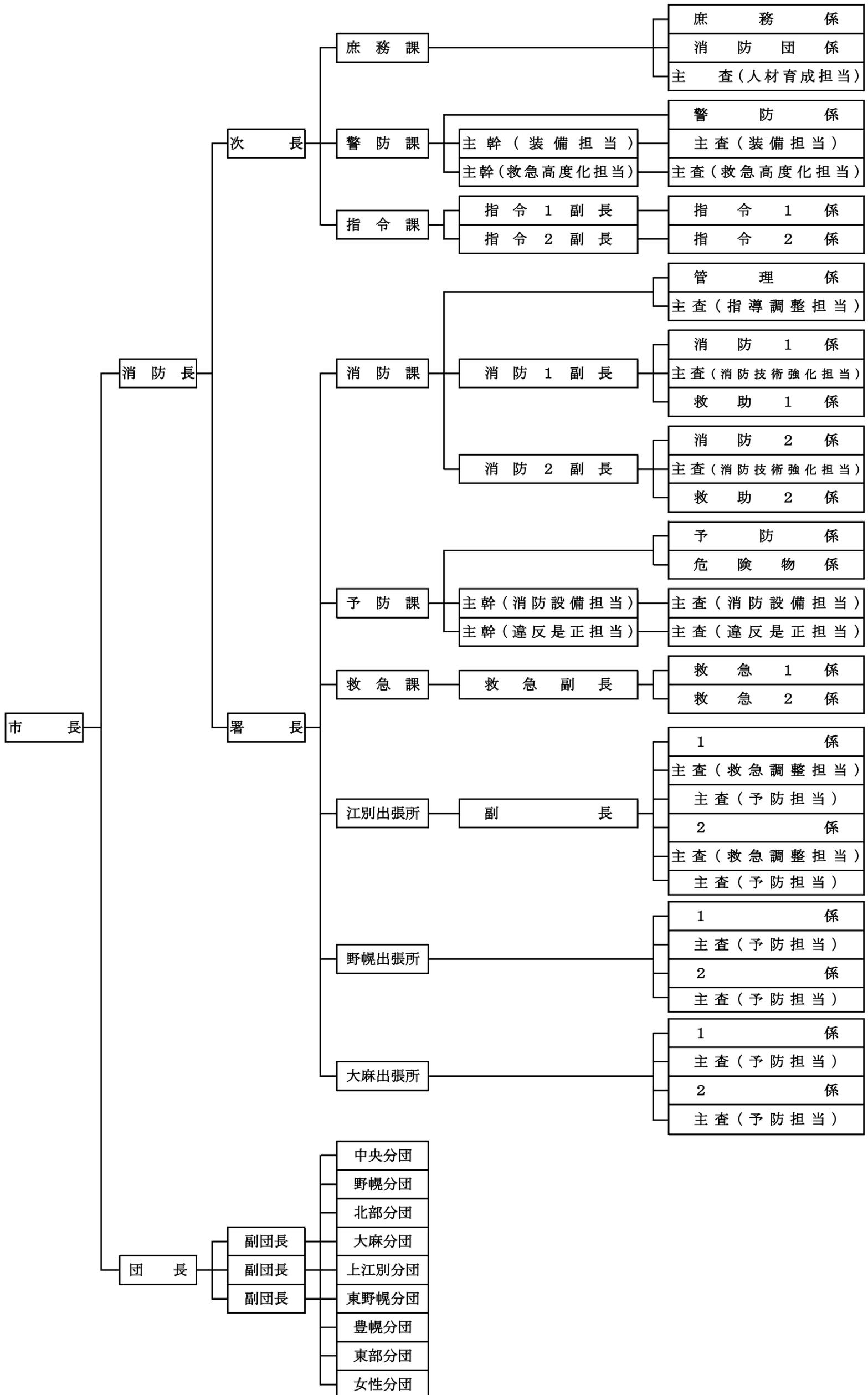
平成29年度 当初消防費予算 (歳出)

(単位：千円)

目	本年度	前年度	比較	本年度の財源内容		節	
				特定	一般	区分	金額
消 防 費	259,265	253,472	5,793	97,946	161,319		
常 備 消防費	216,466	213,040	3,426	使用料及び 手 数 料 118 国庫支出金 13,340 繰 入 金 2,000 諸 収 入 5,188 市 債 69,900 計 90,546	125,920	報 酬 4,417 報 償 費 590 旅 費 2,659 交 際 費 30 需 用 費 53,377 役 務 費 11,545 委 託 料 38,528 使 用 料 及 び 借 料 1,707 工 事 請 負 費 14,800 原 材 料 費 230 備 品 購 入 費 78,165 負 担 金 補 助 及 び 交 付 金 10,418	
非常備 消防費	33,535	31,264	2,271		33,535	報 酬 6,475 報 償 費 269 旅 費 12,787 交 際 費 30 需 用 費 7,018 役 務 費 521 委 託 料 20 使 用 料 及 び 借 料 575 原 材 料 費 14 負 担 金 補 助 及 び 交 付 金 5,826	
消 防 施設費	9,264	9,168	96	市 債 7,400	1,864	需 用 費 934 工 事 請 負 費 7,180 原 材 料 費 1,150	

※ 職員給与費含まず

# 消防機構図



## 消防職員配置状況

(人)

部署	階級	合計	消防監	消防司令	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他
本部	消防長	1	1							
	次長	1		1						
	庶務課	6			1	2	2			1
	警防課	8			3	3	2			
	指令課	9			3	2	4			
	本部付									
計		25	1	1	7	7	8			1
消防署	署長	1		1						
	消防課	25			3	8	8	1	5	
	予防課	13			3	4	5		1	
	救急課	15			2	2	11			
	江別出張所	23			2	5	9	1	6	
	野幌出張所	13			1	3	5	1	3	
	大麻出張所	15			1	3	6		5	
計		105		1	12	25	44	3	20	
合計		130	1	2	19	32	52	3	20	1

## 消防職員階級別年齢状況

(人)

年齢	階級	合計	消防監	消防司令	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他
18歳～20歳		4							4	
21歳～25歳		18						3	15	
26歳～30歳		16					15		1	
31歳～35歳		16					16			
36歳～40歳		13				2	11			
41歳～45歳		22			1	13	8			
46歳～50歳		15			3	10	1			1
51歳～55歳		8		1	5	2				
56歳～60歳		18	1	1	10	5	1			
合計		130	1	2	19	32	52	3	20	1

※ 平均年齢 39.0歳

## 消防職員階級別勤続年状況

(人)

年数	階級	合計	消防監	消防司令	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他
5年未満		25					5	1	18	1
5年以上10年未満		20					16	2	2	
10年以上15年未満		11					11			
15年以上20年未満		14				5	9			
20年以上25年未満		19			1	11	7			
25年以上30年未満		13			2	8	3			
30年以上		28	1	2	16	8	1			
合計		130	1	2	19	32	52	3	20	1

※ 平均勤続年数 18.0年

# 消防吏員各種資格取得状況

(人)

免 許 資 格		階 級	合 計	消防監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
自動車運転免許	普 通		19					5		14
	中 型		9		1	3	2	3		
	大 型		103	1	1	16	31	45	3	6
救 急 救 命 士			32		2	4	6	16		4
小 型 船 舶 操 縦	一 級		1			1				
	二 級		37			10	11	16		
陸上特殊無線技士	二 級		52	1		9	15	27		
	三 級		2			1	1			
予 防 技 術 資 格 者	防火査察		30			9	12	9		
	消防設備		13			7	5	1		
	危険物		9			2	4	3		
技 能 講 習	小 型 移 動 式 ク レ ーン		30			5	10	13		2
	玉 掛 技 能		31			5	10	14		2
	酸欠危険作業主任者	酸素欠乏	29			9	11	9		
		硫化水素	27			9	10	8		
	足 場 組 立 作 業 主 任 者		9			4	3	2		
特 別 教 育	ア ー ク 溶 接		18	1		3	9	5		
	高 圧 ・ 特 別 高 圧 電 気 取 扱		3					3		
	低 圧 電 気 取 扱		4					3	1	
	大 径 木 伐 木 等 作 業		13			4	1	8		
	小 径 木 伐 木 等 作 業		2						1	1
	巻 上 げ 機 (ウインチ)		8				1	6		1
衛 生 管 理 者			11			2	6	3		
消 防 設 備 士	甲 種		1			1				
	乙 種		10			1	6	3		
危 険 物 取 扱 者	甲 種		2				2			
	乙 種		47		1	7	20	17		2
	丙 種		8			2	4	2		

# 消 防 職 員 教 育 状 況

(人)

教育課程		年 度										
		平成 20	平成 21	平成 22	平成 23	平成 24	平成 25	平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	
消防 大学 校	総 合 教 育 ( 上 級 幹 部 科 ・ 幹 部 科 )			1				2				
	専 科 教 育 ( 火 災 調 査 科 他 )											
	実 務 講 習 ( 消 防 団 活 性 化 推 進 コー ス ・ 女 性 活 躍 推 進 コー ス )								1	1		
北 海 道 消 防 学 校	初 任 教 育	5	5	4	4	2	6	5	3	5	5	
	専 科 教 育	警 防 科	1					1	1	1	2	1
		予 防 査 察 科	1	1		1		1	1	1	1	1
		危 険 物 科	1			1				1	1	1
		火 災 調 査 科	1	1	1		1			1	1	1
		救 急 科	2	2	2	3	3	3	4	4	4	3
		救 助 科	1	1	1	1	2	1	1	1	2	2
	幹 部 教 育 幹 部 科		1				1		1	1	1	
	特 別 教 育	消 防 ポ ン プ 操 法 指 導 員 課 程							1		1	
		は し ご 自 動 車 運 用 課 程	2		1		1		2	2	1	1
		気 管 挿 管 講 習	1	1	1							
		薬 剤 投 与 講 習	1	1	2	2		1				
		道 M C 関 係	ビ デ オ 硬 性 喉 頭 鏡 講 習					2	2	4	2	2
処 置 拡 大 2 行 為 講 習									4	4	4	2
札 幌 市 消 防 学 校 等	救 急 救 命 士 養 成 課 程			1	1	1	1	1	1	1		
	指 揮 隊 長 研 修					1		1		1	1	
	指 揮 隊 員 研 修							1				
行 政 機 関 研 修	市 町 村 職 員 中 央 研 修 所	2	2	2		3	1	1	2	1		
	北 海 道 市 町 村 職 員 研 修 セ ン タ ー		5	4		3	3	5	7	3	3	
	札 幌 広 域 圏 組 合 共 同 研 修	0	6	5	2	1						
合 計		18	26	25	15	21	20	34	32	32	22	

# 予 防 編



通 常 点 検



# 危険物施設状況

( 施設数 )

施設別		地区別	消 防 署			合 計
			江 別	野 幌	大 麻	
製 造 所						
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所		12	5	2	19
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所		27	13	2	42
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所		9	3	1	13
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所		69	65	44	178
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所				1	1
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所		30	21	9	60
	屋 外 貯 蔵 所		2	2		4
取 扱 所	給 油 取 扱 所		15	17	4	36
	一 般 取 扱 所		29	24	13	66
	販 売 取 扱 所					
合 計			193	150	76	419

# 危険物施設の許可・承認状況

( 件 )

施設別		設 置		変 更		完 成 検 査 前 検 査	仮 使 用	仮 貯 蔵 ・ 仮 取 扱	合 計
		許 可	完 成	許 可	完 成				
製 造 所									
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所			1	1				2
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	1	1						2
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所								
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	1	1	3	3				8
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所								
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所			2	2				4
	屋 外 貯 蔵 所								
取 扱 所	給 油 取 扱 所			3	3		2		8
	一 般 取 扱 所			2	2				4
	販 売 取 扱 所								
合 計		2	2	11	11		2		28

# 建築物確認申請消防同意処理状況

(件)

項目	区分	合計	新築	増築	改築	その他	耐火	準耐火	その他
	1	イ							
ロ									
2	イ								
	ロ								
	ハ								
	ニ								
3	イ								
	ロ	2	2						2
4		12	12				4	1	7
5	イ	1				1			1
	ロ	35	35				6	5	24
6	イ	1	1					1	
	ロ	6	4	2			5		1
	ハ	7	4	1		2	1	2	4
	ニ								
7									
8									
9	イ								
	ロ								
10									
11		1		1					1
12	イ	6	3	3				5	1
	ロ								
13	イ	2	2					2	
	ロ								
14		5	4	1				3	2
15		7	7					2	5
16	イ	5	1			4	1	1	3
	ロ	3	2	1			1	1	1
17									
その他		49	49					1	48
昇降機									
計画通知		3	3						3
小計		145	129	9		7	18	24	103
専用住宅		12	12						12
小計		12	12						12
合計		157	141	9		7	18	24	115

## 政令対象物施設状況・防火管理者選任状況

対 象 物		区 分	政 令	選任義務	選任済	消防計画 提出数
			対象物	対象物	対象物	
1	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場	4	2	2	2
	ロ	公会堂、集会場	71	61	61	61
2	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブの類				
	ロ	遊技場、ダンスホール	6	6	6	6
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗の類				
	ニ	カラオケボックスその他遊興のために個室にて業務を営む店舗の類	2	2	2	2
3	イ	待合、料理店の類				
	ロ	飲食店	50	46	34	34
4		百貨店、マーケット、その他の物品販売業を営む店舗又は展示場	104	75	70	70
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所	9	3	3	3
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅	1,537	66	63	63
6	イ	病院、診療所、助産所	51	14	13	13
	ロ	老人短期入所施設、養護老人ホーム、介護老人保健施設、重症心身障害児施設等の類	37	29	29	29
	ハ	老人デイサービスセンター、保育所、児童養護施設、精神障害者社会復帰施設等の類	72	28	28	28
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	7	4	4	4
7		小学校、中学校、高等学校、高等専門学校、大学、専修学校、各種学校の類	136	33	33	33
8		図書館、博物館、美術館の類	9	6	6	6
9	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場の類	1	1	1	1
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	5	4	4	4
10		車両の停車場、船舶又は航空機の発着場	2			
11		神社、寺院、教会の類	39	27	26	25
12	イ	工場、作業場	278	8	8	8
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ				
13	イ	自動車車庫、駐車場	40			
	ロ	飛行機、回転翼航空機の格納庫				
14		倉庫	261	5	3	3
15		前各項に該当しない事業場	247	45	44	44
16	イ	(1)～(4)、(5)イ、(6)、(9)イが存する複合用途防火対象物	149	124	116	115
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物	120	37	37	37
16-2		地下街				
16-3		準地下街				
17		重要文化財、重要有形民俗文化財、史跡等の建造物	1	1	1	1
18		延長50メートル以上のアーケード				
19		市町村長の指定する山林				
20		総務省令で定める舟車				
合 計			3,238	627	594	592

階層別・業態別棟数表

業態別		階層別		4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階	13階	14階	15階	
		総棟数														
1項	イ															
	ロ	1		1												
2項	イ															
	ロ															
	ハ															
	ニ															
3項	イ															
	ロ	3	2			1										
4項																
5項	イ	1		1												
	ロ	287	145	83	12	5	10	3	13	12		1	2	1		
6項	イ	7	4	1	2											
	ロ	5	3	2												
	ハ	1		1												
	ニ															
7項		25	16	4	1			1	2		1					
8項		2	2													
9項	イ															
	ロ															
10項																
11項																
12項	イ	8	3	2	2			1								
	ロ															
13項	イ															
	ロ															
14項		2	1	1												
15項		7	2	3	1	1										
16項	イ	22	9	6	4				2	1						
	ロ	10	7	2		1										
合計		381	194	107	22	8	10	5	17	13	1	1	2	1		

各 種 届 出 状 況

区 分	件数	区 分	件数
消 防 用 設 備 等 着 工 届	97	ストーブ・煙突取付清掃業届出書	
消 防 用 設 備 等 設 置 届	167	少 量 危 険 物 貯 蔵 取 扱 届	175
防 火 対 象 物 使 用 開 始 ( 内 容 変 更 ) 届	132	指 定 可 燃 物 貯 蔵 取 扱 届	15
防 火 管 理 者 選 任 ( 解 任 ) 届	147	水 張 水 圧 検 査 ・ 検 査 申 請	
防 災 管 理 者 選 任 ( 解 任 ) 届	1	圧 縮 ア セ チ レ ン ガ ス 等 貯 蔵 取 扱 届	10
消 防 計 画 作 成 ( 変 更 ) 届	212	集 合 煙 突 発 煙 試 験 申 請	
自 衛 消 防 組 織 設 置 ( 変 更 ) 届	8	ネ オ ン 管 灯 設 備 設 置 届	
燃 料 電 池 発 電 ・ 変 電 ・ 発 電 ・ 蓄 電 池 ・ 設 備 設 置 届	38	催 物 開 催 届	21
炉 ・ 厨 房 設 備 ・ ボ イ ラ ー 設 置 届	0	道 路 工 事 届 出 書	34
温 風 暖 房 機 設 置 届	7	劇 場 等 の 裸 火 使 用 ・ 危 険 物 持 ち 込 み 申 請 書	6
給 湯 湯 沸 設 備 設 置 届	4	水 素 ガ ス を 充 填 す る 気 球 の 設 置 届	
サ ウ ナ 設 備 設 置 届		煙 火 打 上 げ ・ 仕 掛 け 届	58
ヒ ー ト ポ ン プ 冷 暖 房 機 設 置 届	2	火 災 と ま ぎ ら わ し い 煙 等 届 出 書	113
乾 燥 設 備 設 置 届	9	訓 練 現 地 指 導 願 い	618
消 防 用 設 備 等 点 検 結 果 報 告 書	2,021	消 防 設 備 業 届 出 書	3
防 火 対 象 物 点 検 結 果 報 告 書	84	液 体 燃 料 を 使 用 す る 設 備 ・ 器 具 取 付 点 検 整 備 業 届 出	
露 店 等 の 開 設 届 出 書	64	合 計	4,046

## 民間防火組織等状況

団 体 名	会員数
幸町少年防火クラブ	40
上江別自治連合会ジュニア消防クラブ	6
幸町女性防火クラブ	140
上江別第一自治会防火部	200
認定こども園 大麻幼稚園 まんまる保育園幼年消防クラブ	174
江別市あかしや保育園幼年消防クラブ	79
江別市つくし保育園幼年消防クラブ	47
江別市東光保育園幼年消防クラブ	59
江別市やよい保育園幼年消防クラブ	120
あすかの森認定こども園幼年消防クラブ	84
第2大麻幼稚園幼年消防クラブ	171
北光保育園幼年消防クラブ	38
江別大谷幼稚園幼年消防クラブ	85
認定こども園 若葉幼稚園幼年消防クラブ	91
江別あかしや幼稚園幼年消防クラブ	118
愛保育園幼年消防クラブ	139
わかば保育園幼年消防クラブ	100
誠染保育園幼年消防クラブ	71
上江別幼稚園幼年消防クラブ	248

団 体 名	会員数
認定こども園あけぼの あけぼの幼稚園 のびのび保育園幼年消防クラブ	180
江別市よつば保育園幼年消防クラブ	132
江別市防火管理者連絡協議会	169
江別市危険物安全協会	110
野幌森林自衛消防隊	18
江北地区自衛消防隊	67
25団体	2,686

# 火災予防各種行事实施状況

行 事 名	期 間	概 要
文化財防火デー	1月26日	消防訓練・防火査察 ～ 「江別市屯田資料館」にて通報・初期消火・避難誘導訓練を実施後に防火査察を実施
春の火災予防運動	4月20日 ～ 4月30日	火災予防啓発活動 ～ 「トンデンファーム」にて消防車両の展示、煙体験、住宅用火災警報器の実演等をはじめとしたイベントを開催 職員の意識及び士気の向上 ～ 通常点検・消防装備点検を実施 幼年消防クラブ入団式 ～ 市内保育園・幼稚園の新入園児がクラブ員として入団 地域に密着した広報 ～ 女性消防団員による一人暮らし高齢者宅への防火訪問を実施
危険物安全週間	6月4日 ～ 6月10日	危険物安全週間研修会 ～ 危険物施設における震災時の対応について、知識の普及啓発を図るための研修会を開催 チラシ等の配布 ～ 市内事業所へリーフレット等を配布し、事故防止対策の徹底を啓発
消防フェスティバル	8月5日	消防フェスティバルの開催 ～ 「イオン江別店」にて消防車両の展示・放水体験・煙体験等をはじめとしたイベントを開催
秋の火災予防運動	10月15日 ～ 10月31日	防火研修会の開催 ～ 外部講師による市民向けの住宅防火研修会を開催 高齢者住宅見回り広報 ～ 江別市民生委員児童委員の高齢者の見回りに同行し、防火相談や住警器の適正維持管理の説明や注意喚起の実施 住警器パンフレットの広報差込配布 ～ 広報えべつに住宅用火災警報器の本体交換・維持管理を記載したパンフレットの差込配布を実施 飲食店ビル等合同消防訓練 ～ 飲食店ビルの経営者・従業員を対象に訓練を実施 自衛消防研修会 ～ 江別市防火管理者連絡協議会及び江別市危険物安全協会の会員を対象に防災講座を開催 移動タンク貯蔵所立入検査 ～ 江別警察署と合同で江別市農村環境改善センターで実施 地域に密着した広報 ～ 女性消防団員による一人暮らし高齢者宅への防火訪問を実施
歳末特別火災予防運動	12月20日 ～ 12月31日	高齢者住宅見回り広報 ～ 江別市民生委員児童委員の高齢者の見回りに同行し、防火相談や住警器の適正維持管理の説明や注意喚起の実施 歳末特別査察 ～ 「コープさっぽろ江別店」「DCMホームマック江別店」「ジョイフルエーカー大路店」「イオン江別店」にて同日に実施 理美容組合による火災予防広報 ～ 市内43店舗の理容・美容店の協力により利用客へリーフレットを配布 防火カレンダーの配布 ～ 防火カレンダーを作成し事業所・自治会集会場へ配布 学生による火災予防広報 ～ JR江別駅・高砂駅にて江別高校野球部員が広報物を配布 表示広報 ～ 消防庁舎にて防火イルミネーションを設置
その他	随時	◆住宅用火災警報器設置推進関係◆ 市内の各種イベントにおける住宅防火展開催のほか、戸別訪問によりリーフレットやティッシュを配布 ◆火災予防広報◆ 災害案内ダイヤルの平常時案内を火災予防運動期間中のみ火災予防啓発用に変更 ◆遊戯施設での文字広報◆ 火災予防運動期間中に市内遊戯施設の電光掲示板を活用した文字広報を実施 ◆掲示物広報◆ 火災予防運動期間中に市内各所へ防火のぼり・垂幕・横断幕等を掲示 ◆高齢者クラブを対象とした防火教室等の開催◆ 暮らしの中に潜む出火危険や対応方法に関する意識啓発のための教室を開催 ◆防火クラブを対象とした研修会等の開催◆ 消防に対する更なる理解と関心を深め、防火防災意識を啓発するために視察研修を開催 ◆小学生を対象とした「消防教室」の開催◆ 早期からの防火防災意識を啓発し、地域における次世代の防災リーダーを育成するための教室を開催



# 警 防 編



化 学 車



# 消防自動車等の現勢

配置	区分	呼称名	種 別	車 名	ポンプ形式 ポンプ級別	水槽車 積載水量 (L)	導入年月日	備 考
消防本部 消防署		1 0 4号車	化学車	日 野	2段タービン A-2	2,000	H29.02	化学消火剤500L積載
		1 0 8号車	大型水槽車	日 野		10,000	H9.12	
		1 0 9号車	水槽車	日 野	2段タービン A-2	3,000	H11.12	II型
		3 0 1号車	救急車	日 産			H22.01	高規格救急自動車
		3 0 3号車	救急車	トヨタ			H23.11	高規格救急自動車
		3 0 5号車	救急車	日 産			H29.12	高規格救急自動車
		5 0 2号車	はしご車	日 野			H6.03	38m級
		5 0 4号車	救助車	日 野			H28.03	II型
		6 0 4号車	災害情報支援車	トヨタ			H26.10	
		6 0 5号車	広報車	トヨタ			H26.10	
		6 0 6号車	連絡車	日 産			H24.07	
		6 0 7号車	連絡車	ダイハツ			H23.02	
		8 0 1号車	災害支援車	トヨタ			H10.09	
		9 0 1号車	指揮車	トヨタ			H29.12	
		小 型 7	可搬式小型動力ポンプ	芝 浦	1段タービン B-2		H9.12	108号車に固定配管で積載
	小 型 9	可搬式小型動力ポンプ	芝 浦	1段タービン B-2		H25.12	消防署に配置	
江 別 出 張 所		1 0 5号車	水槽車	日 野	1段ポリュート A-2	2,000	H27.01	II型
		3 0 2号車	救急車	トヨタ			H25.04	高規格救急自動車
		7 0 3号車	小型動力ポンプ積載車	日 産			H12.10	
野 幌 出 張 所		1 0 7号車	水槽車	日 野	2段タービン A-2	2,000	H20.12	II型
		7 0 5号車	小型動力ポンプ積載車	トヨタ			H13.09	
大 麻 出 張 所		1 0 3号車	水槽車	日 野	2段タービン A-2	2,000	H21.08	II型
		7 0 6号車	小型動力ポンプ積載車	トヨタ			H28.12	
		小 型 17	可搬式小型動力ポンプ	芝 浦	1段タービン B-2		H28.12	706号車に積載
中 央 分 団		2 0 2号車	ポンプ車	日 野	2段タービン A-2		H7.02	CD-II型
		小 型 14	可搬式小型動力ポンプ	芝 浦	1段タービン B-3		H7.02	202号車に積載
野 幌 分 団		2 0 3号車	ポンプ車	日 野	2段タービン A-2		H25.12	CD-I型
		小 型 6	可搬式小型動力ポンプ	芝 浦	1段タービン B-2		H25.12	203号車に積載
北 部 分 団		2 0 4号車	ポンプ車	日 野	2段タービン A-2		S58.10	CD-II型
		小 型 4	可搬式小型動力ポンプ	芝 浦	1段タービン B-3		S54.09	204号車に積載
大 麻 分 団		2 0 7号車	ポンプ車	いすゞ	2段タービン A-1		H7.08	CD-I型
		小 型 5	可搬式小型動力ポンプ	芝 浦	1段タービン B-3		S54.09	207号車に積載
上 江 別 分 団		7 0 4号車	小型動力ポンプ付積載車	三 菱			H1.07	集中操作装置（小型動力ポンプ）
		小 型 8	可搬式小型動力ポンプ	芝 浦	1段タービン B-2		S62.08	704号車に固定配管で積載
		小 型 13	可搬式小型動力ポンプ	芝 浦	1段タービン B-3		S48.08	
東 野 幌 分 団		2 0 6号車	ポンプ車	三 菱	2段タービン A-2		H2.03	CD-I型
		小 型 2	可搬式小型動力ポンプ	芝 浦	1段タービン B-3		H13.09	206号車に積載
豊 幌 分 団		2 0 5号車	ポンプ車	日 野	2段タービン A-2		H27.03	CD-I型
		小 型 1	可搬式小型動力ポンプ	トヨタ	1段タービン B-3		H12.10	
		小 型 12	可搬式小型動力ポンプ	トヨタ	1段タービン B-2		H27.08	
東 部 分 団		7 0 2号車	小型動力ポンプ付積載車	三 菱			H2.07	集中操作装置（小型動力ポンプ）
		小 型 15	可搬式小型動力ポンプ	芝 浦	1段タービン B-2		H2.07	702号車に固定配管で積載
女 性 分 団		6 0 8号車	連絡車	日 産			H28.12	
自 衛 消 防 隊	江 北	7 0 1号車	小型動力ポンプ積載車	スズキ			H26.12	
		小 型 16	可搬式小型動力ポンプ	芝 浦	1段タービン B-2		H26.12	701号車に積載

# 消 防 水 利 設 置 状 況

区分 地区別	消 火 栓		防 火 水 槽 等		緊急 貯水槽	計	40m <sup>3</sup> 未満の 防火水槽等	
	公 設	私 設	公 設	私 設	公設		公 設	私 設
江 別 地 区	333	107	44	17	3	504	2	7
野 幌 地 区	246	5	36	34	2	323		4
大 麻 地 区	162	8	16	5	1	192	1	4
合 計	741	120	96	56	6	1,019	3	15
	861		152				18	

## 市街地・準市街地等における消防水利の設置状況

区分 地域別	消 火 栓		防 火 水 槽 等		緊急 貯水槽	計	40m <sup>3</sup> 未満の 防火水槽等	
	公 設	私 設	公 設	私 設	公設		公 設	私 設
市 街 地	701	118	91	39	6	955	3	9
準 市 街 地	20		3			23		
その他の地域	20	2	2	17		41		6
合 計	741	120	96	56	6	1,019	3	15
	861		152				18	

# 主な消防用機械器具等保有状況

機器名	数量	機器名	数量	機器名	数量
一般救助用器具		隊員保護用器具		観察用資器材	
かぎ付はしご	7	耐電手袋	16	血圧計（組）	4
二連はしご	7	安全带	5	血中酸素飽和度測定器（台）	4
三連はしご	5	携帯警報器	39	検眼ライト（本）	4
金属製折りたたみはしご又はワイヤはしご	1	防毒マスク	5	心電計（台）	4
空気式救助マット	1	化学防護服	7	体温計（台）	8
救命索発射銃	1	陽圧式化学防護服	4	聴診器（台）	4
サバイバースリング又は救助用縛帯	5	耐熱服	4	血糖値測定器（台）	4
重量物排除用器具		放射線防護服	19	呼吸・循環管理用資器材	
油圧ジャッキ	1	耐電衣	4	気道確保用資器材（組）	4
油圧スプレッダー	1	耐電ズボン	4	吸引器一式（組）	4
可搬ウィンチ	3	耐電長靴	4	喉頭鏡（組）	4
マンホール救助器具	1	特殊ヘルメット	6	酸素吸入器一式（組）	4
マット型空気ジャッキ一式	1	検索用器具		自動式人工呼吸器一式（組）	4
大型油圧スプレッダー	2	簡易画像探索機	1	自動体外式除細動器（組）	4
救助用支柱器具	1	除染用器具		手動式人工呼吸器一式（組）	8
切断用器具		除染シャワー	1	マギール鉗子（組）	8
油圧切断機	2	除染剤散布器	1	呼気二酸化炭素測定器具	4
エンジンカッター	7	水難救助用器具		自動式心マッサージ器（基）	3
ガス溶断器	1	潜水器具一式	2	特定行為用資器材（組）	4
チェーンソー	6	流水救助器具一式	10	ビデオ硬性挿管用喉頭鏡（組）	4
鉄線カッター	11	救命胴衣	260	創傷等保護用資器材	
空気鋸	1	水中投光器	3	固定用資器材（組）	4
大型油圧切断機	2	救命浮環	9	創傷保護用資器材（組）	4
空気切断機	1	浮標	3	保温・搬送用資器材担架	
破壊用器具		救命ボート	3	スクープストレッチャー（台）	4
万能斧	24	船外機	3	担架（台）	4
ハンマー	9	水中時計	2	バックボード（台）	4
携帯用コンクリート破壊器具	6	山岳救助用器具		救出用資器材	
削岩機	1	バスケット担架	6	万能斧（本）	3
ハンマドリル	1	高度救助用器具			
検知・測定用器具		熱画像直視装置	1		
可燃性ガス測定器	6	その他の救助用器具			
有毒ガス測定器		投光器一式	15		
放射線測定器	6	携帯投光器	34		
呼吸保護用器具		携帯拡声器	18		
空気呼吸器	39	携帯無線機	75		
空気補充用ポンペ	1	緩降機	1		
酸素呼吸器	2	ロープ登降機	1		
簡易呼吸器	2	救助用降下機	9		
送排風機	2	発電機	12		



# 災害等総括編



## 火災現場活動状況



## 月 別 災 害 等 受 付 状 況

(件)

月 別	火 災	救 急	救 助	他の災害	問 合	通報訓練	悪 戯	間 違 い	そ の 他	転 送	合 計
1月	6	381	7	28	41	74	1	33	60	3	634
2月	6	348	12	33	28	99		20	78	5	629
3月	3	343	4	39	32	90		25	67	3	606
4月	5	330	7	34	32	55	1	24	73	3	564
5月	7	375	14	46	44	98		28	40	3	655
6月	3	324	7	30	30	105		24	83	5	611
7月	9	360	15	40	54	98		34	83	7	700
8月	3	330	7	36	44	72		27	44	3	566
9月	1	334	2	29	28	112	1	29	116	2	654
10月	1	382	6	29	30	144	1	38	66	5	702
11月	1	339	7	42	34	116	3	16	270	6	834
12月	1	415	7	38	43	61		28	149	14	756
合 計	46	4,261	95	424	440	1,124	7	326	1,129	59	7,911
月平均	3.8	355.1	7.9	35.3	36.7	93.7	0.6	27.2	94.1	4.9	659.3
日平均	0.13	11.67	0.26	1.16	1.21	3.08	0.02	0.89	3.09	0.16	21.67

※ 本表は、119番通報（NTT回線、IP回線、携帯電話）、緊急通報装置、専用回線、一般加入電話、駆け込み、直接覚知、消防無線、FAX、Eメールによる災害等の通報受付件数を集計したものである。

## 過 去 3 か 年 災 害 受 付 状 況

(件)

	火 災	救 急	救 助	他の災害	問 合	通報訓練	悪 戯	間 違 い	そ の 他	転 送	合 計
27年	66	3,963	92	415	627	953	5	362	823	48	7,354
28年	79	4,161	88	483	487	1,411	7	317	1,029	47	8,109
29年	46	4,261	95	424	440	1,124	7	326	1,129	59	7,911

## 月別災害等出動状況

(件)

種別 月別	火 災	救 急	救 助	警 戒	救急支援	風水害等 自然災害	計
1 月	2	406	6	9	30		453
2 月	1	372	14	18	34		439
3 月	1	372	7	20	34		434
4 月	4	341	6	21	19		391
5 月	5	404	15	23	30		477
6 月	2	352	7	16	22		399
7 月	2	382	13	31	16	1	445
8 月	2	351	8	15	21		397
9 月	1	350	6	13	20		390
1 0 月		404	8	14	27		453
1 1 月	2	362	9	20	25		418
1 2 月		436	9	13	32	3	493
計	22	4, 532	108	213	310	4	5, 189

## 過去5か年災害別出動状況

(件)

種別 年別	火 災	救 急	救 助	警 戒	救急支援	風水害等 自然災害	計
平成25年	42	4, 497	96	195	356	16	5, 202
平成26年	37	4, 424	102	194	305		5, 062
平成27年	29	4, 367	85	206	351		5, 038
平成28年	32	4, 537	95	216	371	16	5, 267
平成29年	22	4, 532	108	213	310	4	5, 189

## 月別警戒等出動状況

(件)

種別 月別	警戒等								風水害等 自然災害	計
	火気設備等 事故	燃焼 事故	警報設備 等	ガス 漏れ	油 流出	誤報 等	危険 排除	その他		
1月			5		2		2			9
2月			8		6	2	2			18
3月		3	4		6	6	1			20
4月		2	2		11	2	4			21
5月		1	3		10	4	5			23
6月			3		5	5	3			16
7月			10		9	6	6		1	32
8月		2	5		5	1	2			15
9月			2		6	3	2			13
10月	1		1		7	2	3			14
11月	1		4		11	2	2			20
12月			3		6	3	1		3	16
計	2	8	50		84	36	33		4	217

## 地区別警戒等出動状況

(件)

種別 地区別	警戒等								風水害等 自然災害	計
	火気設備等 事故	燃焼 事故	警報設備 等	ガス 漏れ	油 流出	誤報 等	危険 排除	その他		
江別	1	3	16		41	15	9		4	89
野幌		2	21		31	8	21			83
大麻	1	3	13		12	13	3			45
計	2	8	50		84	36	33		4	217
管外										
総計	2	8	50		84	36	33		4	217

## 月別救急支援出動状況

(件)

種別 月別	救 急 支 援				計
	C P A (疑いを含む)	搬送困難	危険排除	そ の 他	
1 月	27	3			30
2 月	30	3	1		34
3 月	27	2	5		34
4 月	17		2		19
5 月	25	3	2		30
6 月	16	1	4	1	22
7 月	11	2	3		16
8 月	19	2			21
9 月	18	1	1		20
10 月	18	1	3	5	27
11 月	23	2			25
12 月	27	4	1		32
計	258	24	22	6	310

## 地区別救急支援出動状況

(件)

種別 地区別	救 急 支 援				計
	C P A (疑いを含む)	搬送困難	危険排除	そ の 他	
江 別	116	9	3	2	130
野 幌	95	8	10	1	114
大 麻	47	7	3	3	60
計	258	24	16	6	304
管外			6		6
総計	258	24	22	6	310





# 編 災 火



場 現 災 火 兩 車



# 火 災 発 生 状 況

区 分	内 訳			
出 火 件 数	建物火災	12件	車両火災	5件
	林野火災	0件	その他火災	5件
	合 計 22件			
焼 損 棟 数	全焼3棟・半焼2棟・部分焼2棟・ぼや6棟・爆発0棟 合計13棟			
建物焼損面積	焼 損 床 面 積	403㎡		
	焼 損 表 面 積	38㎡		
林野焼損面積	0.00ha(0a)			
損 害 額	建物の損害	13,766千円	車両の損害	2,116千円
	林野の損害	0千円	その他の損害	52千円
	合 計 15,934千円			
死 傷 者 数	死者2人・負傷者5人			
出火1件当り 焼 損 面 積	約34㎡			
出火1件当り 損 害 額	約724,273円			

# 月 別 火 災 状 況

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	
出 火 件 数	建 物	全 焼			1			1				1		3	
		半 焼		1				1							2
		部分焼					1				1				2
		ぼ や	1				2			1			1		5
		爆 発													
		計	1	1	1		3	1	1	1	1		2		12
	林 野 車 両 船 舶 航 空 機 そ の 他	林 野													
		車 両	1			1	1	1	1						5
		船 舶													
		航 空 機													
		そ の 他				3	1			1					5
		計	2	1	1	4	5	2	2	2	2	1		2	22
焼 損 棟 数	全 焼			1				1				1		3	
	半 焼		1				1							2	
	部分焼					1				1				2	
	ぼ や	1	1			2			1			1		6	
	爆 発														
	計	1	2	1		3	1	1	1	1		2		13	
焼損床面積 m <sup>2</sup>			95	100			66	44		46		52		403	
焼損表面積 m <sup>2</sup>			8			12		18						38	
林野焼損面積 a															
り 災 世 帯	全 損							1						1	
	半 損						1							1	
	小 損					3			1	1				5	
	計					3	1	1	1	1				7	
り 災 人 員						9	2	1	1	1				14	
死 傷 者 等	死 者						2							2	
	負 傷 者					2		2	1					5	
	計					2	2	2	1					7	
焼 損 見 積 額 千 円	建 物		9,739	825		50	1,254	600	19	955		324		13,766	
	林 野														
	車 両	160	338	150	150	196	642	480						2,116	
	船 舶														
	航 空 機														
	そ の 他					52								52	
	計	160	10,077	975	150	298	1,896	1,080	19	955		324		15,934	

図1 月別出火件数

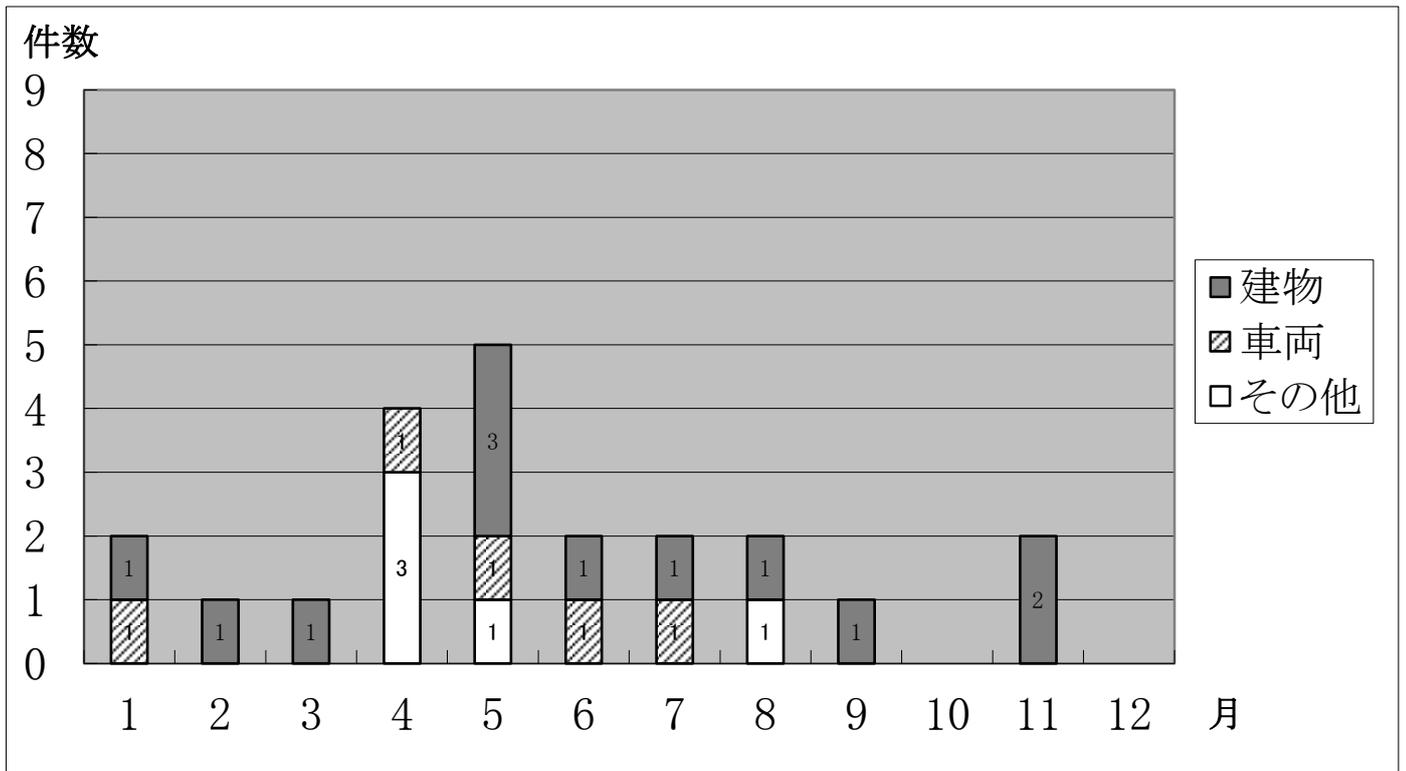
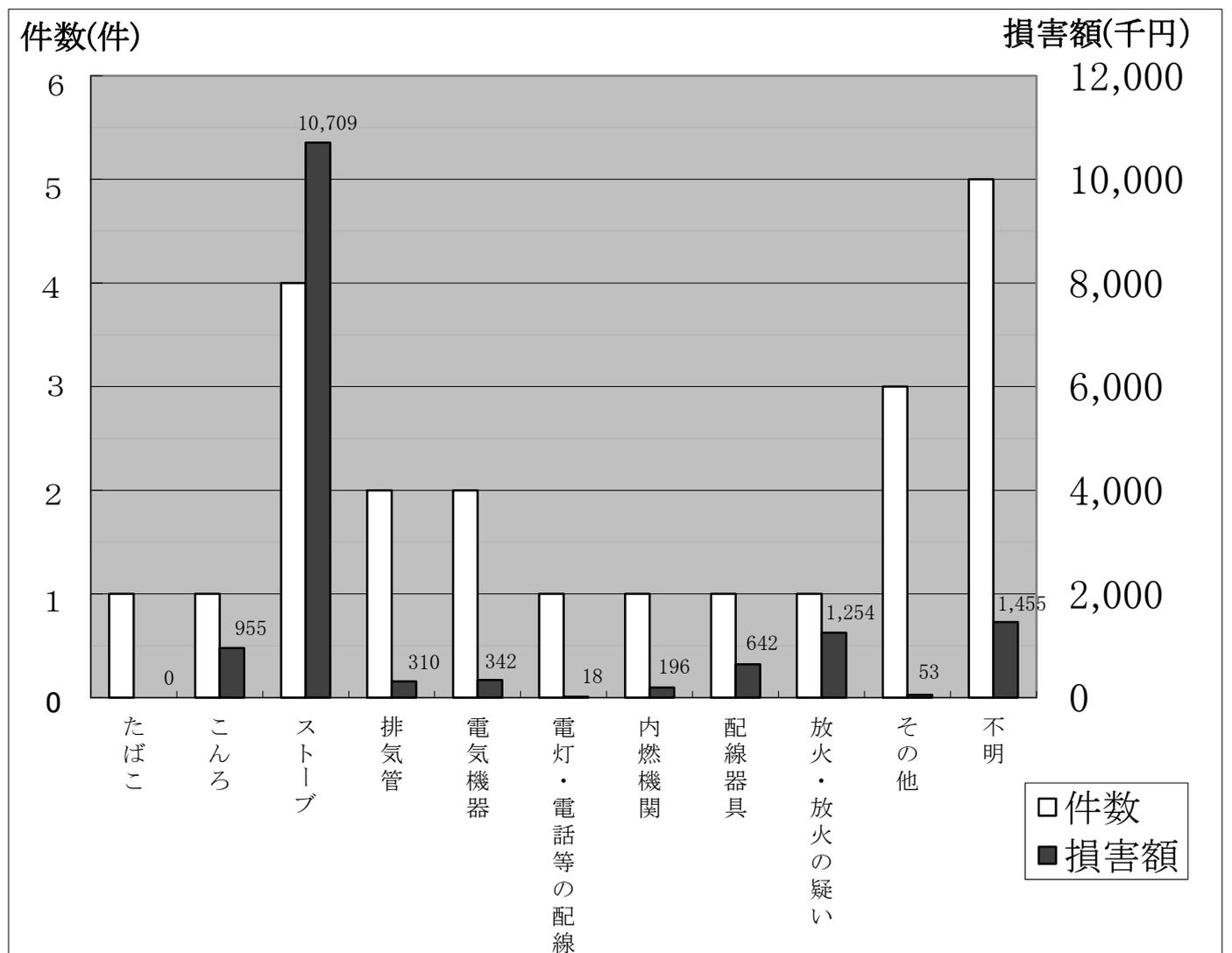


図2 出火原因別件数と火災損害額



## 過去3か年原因別火災発生状況

原因別	年別	平成29年		平成28年		平成27年	
		件数	損害額(千円)	件数	損害額(千円)	件数	損害額(千円)
たばこ		1	0			1	193
こんろ		1	955	3	35	2	125
かまど							
風呂かまど							
炉				1	430		
焼却炉							
ストーブ		4	10,709	1	384	3	8,056
こたつ							
ボイラー				1	20		
煙突・煙道				1	145		
排気管		2	310	1	701	1	20
電気機器		2	342			1	19
電気装置							
電灯・電話等の配線		1	18	1	193	2	576
内燃機関		1	196				
配線器具		1	642			1	0
火あそび						1	6,019
マッチ・ライター							
たき火							
溶接機・切断機						1	59
灯						1	71
衝突の火花							
取灰							
火入れ							
放火				1	9	1	1,127
放火の疑い		1	1,254	1	138	1	3,074
その他		3	53	8	470	4	18,624
不明・調査中		5	1,455	13	41,332	8	6,867
合計		22	15,934	32	43,857	28	44,830

# 用途別火災原因調査

区分	火元用途	出火箇所	発火源	経過	着火物
建築物火災	専用住宅	居室	石油ストーブ	誤ってスイッチを入れる	ノートパソコン
		居室	たばこ	たばこの吸い殻が落下する	ゴミ屑
		居室	不明	放火の疑い	不明
		居室	ストーブ	不適當なところに捨て置く	段ボール
		壁内	屋内配線	電線が短絡する	配線被覆
	共同住宅	寝室	リチウム電池	不明	寝具
	長屋住宅	台所	ガステーブル	放置する	動物性油類
	車庫	車庫	その他の電気機器	電線が短絡する	わら屑
	作業場	作業場	ストーブ	不明	天井
	事務所	事務室	不明	不明	不明
	幼稚園	遊技場(ホール)	ストーブ	輻射を受けて発火する	タオル
物販店・映画館	事務所	蛍光灯	絶縁劣化による発熱	安定器	
車両火災	乗用車	エンジン	排気管	火源に触れる	エンジンオイル
		助手席	二股ソケット	金属接触部分が過熱	電気配線類
		不明	不明	不明	不明
	貨物車	荷台部分	排気管	不適の用に用いる	建築廃材
		エンジン	内燃機関	火源に触れる	エンジンオイル
その他火災	その他	敷地内	不明	不明	不明
		敷地内	火のついたゴミ	飛び火	ゴミ類
		資材置場	火のついたゴミ	火勢が意図せず拡大する	発泡剤の屑
		河川敷	不明	不明	枯草
		遊歩道	不明	不明	立木

## 火災覚知別状況

種別 件数	火災報知 専用電話 (加入)	火災報知 専用電話 (携帯)	加入電話 (固定)	加入電話 (携帯)	警察電話	駆け付け 通報	事後聞知	その他	合計
件数	7	12			1		1	1	22

## 曜日別・出火時間火災状況

(件)

曜日 時間	日	月	火	水	木	金	土	合計
0～1								
1～2								
2～3						1		1
3～4								
4～5								
5～6							1	1
6～7							1	1
7～8								
8～9				2				2
9～10		1					1	2
10～11								
11～12		1						1
12～13					1			1
13～14				1		1	1	3
14～15								
15～16	1	1				1		3
16～17							1	1
17～18				1	1			2
18～19						1		1
19～20								
20～21							1	1
21～22							1	1
22～23								
23～24			1					1
不明								
合計	1	3	1	4	2	4	7	22

# 救 助 編



高 所 か ら の 救 出 活 動



## 月別救助出動状況

(件)

種別 月別	出動 件数	事 故 種 別										救 助 人 員	
		火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害 事 故	風 水 害 等	機 械 に よ る 事 故	事 建 物 等 に よ る 事 故	酸 ガ ス 事 及 び	破 裂 事 故		そ の 他 の 事 故
		建 物	建 物 以 外										
1月	6			3				2				1	3
2月	14			3			2	5	1			3	8
3月	7			1				2	2			2	3
4月	6			2			1	2				1	2
5月	15			5			1	7				2	9
6月	7	1		1	1			2				2	6
7月	13			4				4				5	9
8月	8			2				2				4	5
9月	6	1		3				1	1				2
10月	8			4	1			1				2	6
11月	9			3				4				2	2
12月	9			3			1	2				3	6
計	108	2		34	2		5	34	4			27	61

## 過去5か年救助出動状況

(件)

種別 年別	出動 件数	事 故 種 別										救 助 人 員	
		火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害 事 故	風 水 害 等	機 械 に よ る 事 故	事 建 物 等 に よ る 事 故	酸 ガ ス 事 及 び	破 裂 事 故		そ の 他 の 事 故
		建 物	建 物 以 外										
平成25年	96	2		30	2	1	5	5	5			46	44
平成26年	102	2		22	4	1	3	1	9			60	46
平成27年	85	3		20	3		1	3	4			51	41
平成28年	95			34	2	1	1	2	1			54	45
平成29年	108	2		34	2		5	34	4			27	61

## 地区別救助出動状況

(件)

地区別	種別	出動件数	事故種別									救助人員		
			火災		交通事 故	水難事 故	自然災害事 故等	風水害事 故	機械による事 故	建物等による事 故	酸ガス事 故及び		破裂事 故	その他の事 故
			建物	建物以外										
江別市内		108	2		34	2		5	34	4		27	61	
江別		43	1		19	2		2	11	2		6	26	
野幌		41			9			3	14	2		13	20	
大麻		24	1		6				9			8	15	
管外														
計		108	2		34	2		5	34	4		27	61	

## 発生場所別救助出動状況

(件)

発生場所別	種別	出動件数	事故種別									救助人員		
			火災		交通事 故	水難事 故	自然災害事 故等	風水害事 故	機械による事 故	建物等による事 故	酸ガス事 故及び		破裂事 故	その他の事 故
			建物	建物以外										
屋内	住居	53	2		1				31	1		18	31	
	その他の屋内	8						3	3	1		1	3	
屋外	道路	高速自動車国道	2		2								2	
		その他の道路	28		27					1			16	
	水面	内水面												
		外水面	2			2								1
	その他の屋外	15			4			2		1		8	8	
地下														
その他														
計		108	2		34	2		5	34	4		27	61	

# 救 急 編



高 規 格 救 急 車



# 救 急 活 動

出場件数	傷病者搬送件数	不搬送件数	医師搬送	資器材搬送	傷病者搬送人員
4,532	4,240	292			4,262

## 月 別 救 急 出 場 状 況

(件)

種別 月別	出場 件数	事 故 種 別													
		火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他			
												転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 搬 送	そ の 他
1月	406	2			16	4	1	60	1	4	284	30			4
2月	372	1			17	6	2	52		4	254	33			3
3月	372	2			15	11	2	46		8	239	45			4
4月	341	3			19	4	4	40	2	4	234	29			2
5月	404	4			30	17	8	60		9	231	43			2
6月	352	4		1	25	15	3	45	2	3	206	42			6
7月	382	2			34	14	9	48		1	238	31			5
8月	351	1			14	12	4	46	1	9	220	40			4
9月	350	1			32	10	7	45		3	205	44			3
10月	404				33	11	10	59	2	1	251	34			3
11月	362	1			25	7	4	49	1	2	231	39			3
12月	436				14	14	2	59		5	295	42			5
計	4,532	21		1	274	125	56	609	9	53	2,888	452			44

搬送人員	4,262	8	258	123	56	586	8	39	2,733	451			
------	-------	---	-----	-----	----	-----	---	----	-------	-----	--	--	--

## 過 去 5 年 救 急 出 場 状 況

(件)

種別 年別	出場 件数	事 故 種 別													搬 送 人 員	
		火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他				
												転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 搬 送		そ の 他
平成25年	4,497	37			302	54	58	541	20	56	2,933	456			40	4,095
平成26年	4,424	30		2	251	61	50	619	24	66	2,863	404			54	4,079
平成27年	4,367	30		1	244	73	59	556	19	48	2,809	484			44	4,053
平成28年	4,537	34			273	132	54	562	10	53	2,921	449			49	4,250
平成29年	4,532	21		1	274	125	56	609	9	53	2,888	452			44	4,262

## 曜日別救急出場状況

(件)

種別 曜日	出場 件数	事 故 種 別													
		火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他			
												転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 搬 送	そ の 他
月	700	3			40	20	2	86	2	8	460	73			6
火	641	2		1	33	16	4	96	2	11	383	86			7
水	621	1			36	20	5	87		10	396	59			7
木	661	3			43	19	8	93	1	6	404	79			5
金	658	5			44	25	2	82		5	407	82			6
土	604	5			41	13	13	69	2	9	399	45			8
日	647	2			37	12	22	96	2	4	439	28			5
計	4,532	21		1	274	125	56	609	9	53	2,888	452			44

## 時間別救急出場状況

(件)

種別 時間	出場 件数	事 故 種 別													
		火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他			
												転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 搬 送	そ の 他
0～2	226				7	4		21	2	3	164	21			4
2～4	173	1			9	1		23	1		114	24			
4～6	170	1			7	3		17		4	124	11			3
6～8	352	2			27	6		51	1	4	241	15			5
8～10	529	1			33	17	2	83		2	339	48			4
10～12	537	1			27	25	8	70		6	326	69			5
12～14	442	3			30	30	15	58		5	237	60			4
14～16	455	3			25	16	20	72	1	5	258	49			6
16～18	475	4		1	47	10	5	60	1	10	295	41			1
18～20	509	2			36	7	3	72	1	5	340	39			4
20～22	410	2			14	1	3	50	1	3	288	45			3
22～24	254	1			12	5		32	1	6	162	30			5
計	4,532	21		1	274	125	56	609	9	53	2,888	452			44

## 地区別救急出場状況

(件)

地区別	種別	出場 件数	事 故 種 別													
			火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他			
													転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 搬 送	そ の 他
江別市		4,523	21		1	269	125	56	609	9	53	2,884	452			44
内 訳	江別	1,697	9		1	99	69	8	231	3	28	1,049	186			14
	野幌	1,763	8			116	42	31	207	3	17	1,081	245			13
	大麻	1,063	4			54	14	17	171	3	8	754	21			17
管外		9			5						4					
計		4,532	21		1	274	125	56	609	9	53	2,888	452			44

## 高速自動車道救急出場状況

(件)

地区別	種別	出場 件数	事 故 種 別													
			火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他			
													転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 搬 送	そ の 他
江別市		8				1	1					6				
内 訳	江別															
	野幌	8				1	1					6				
	大麻															
管外		6				4					2					
計		14				5	1				8					

## 年 齢 別 救 急 搬 送 人 員 調

(人)

種別 区分		事 故 種 別										計		
		火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病		そ の 他	
													転 院 搬 送	そ の 他
新生児	生後28日未満										3	8		11
乳幼児	生後28日以上6歳以下				7			22			102	14		145
少年	7歳～17歳				18	1	23	24		2	61	22		151
成人	18歳～64歳	5			164	101	30	122	5	31	750	167		1,375
高齢者	65歳以上	3			69	21	3	418	3	6	1,817	240		2,580
不明														
計		8			258	123	56	586	8	39	2,733	451		4,262

## 年 齢 別 傷 病 程 度 別 搬 送 人 員 調

(人)

程度 区分		傷 病 程 度 別					計
		死亡	重症	中等症	軽症	その他	
新生児	生後28日未満			4	7		11
乳幼児	生後28日以上6歳以下			6	42	97	145
少年	7歳～17歳			5	56	90	151
成人	18歳～64歳		21	124	529	701	1,375
高齢者	65歳以上		77	328	1,420	755	2,580
計			98	467	2,054	1,643	4,262

## 医 療 機 関 別 傷 病 者 搬 送 状 況

(人)

種別 告示別		開設者別	急 病		交 通 事 故		一 般 負 傷		そ の 他		計	
			管外	管内	管外	管内	管外	管内	管外	管内	管外	管内
救急告示医療機関	国立		19	19			2	2	20	20	41	41
	公立		1,133	13	41	3	132	4	247	26	1,553	46
	公的		48	48			4	4	18	18	70	70
	私的病 的診療所		1,420	629	203	98	405	183	361	199	2,389	1,109
	計		2,644	718	254	101	566	193	656	268	4,120	1,280
その他の医療機関	国立											
	公立		3	2			2	2			5	4
	公的											
	私的病 的診療所		65	54	1	1	12	11	23	22	101	88
	計		89	62	4	2	20	14	29	22	142	100
計	国立		19	19			2	2	20	20	41	41
	公立		1,136	15	41	3	134	6	247	26	1,558	50
	公的		48	48			4	4	18	18	70	70
	私的病 的診療所		1,485	683	204	99	417	194	384	221	2,490	1,197
	計		2,733	780	258	103	586	207	685	290	4,262	1,380
その他の場所	臨時ヘリポート											
	その他											
	計											
計			2,733	780	258	103	586	207	685	290	4,262	1,380

# 救急隊員の行った応急処置件数

(人)

種別 処置	急病	交通事故	一般負傷	その他	計
応急処置対象人員	2,727	256	584	680	4,247
止血	24	14	62	16	116
固定	20	119	106	42	287
人工呼吸	12			2	14
心マッサージ					
うち自動					
心肺蘇生	78	1	6	20	105
うち自動	44		1	8	53
酸素吸入	695	15	32	137	879
気道確保	109	1	6	22	138
経鼻エアウェイ					
喉頭鏡・鉗子	2		2		4
ラリングアルマスク等	66		5	13	84
気管挿管	7		1	1	9
うちビデオ硬性喉頭鏡			1	1	2
保温	2,374	132	453	589	3,548
被覆	19	57	145	35	256
在宅療法継続	52		4	1	57
点滴処置	2				2
気管切開孔・人工肛門等の外瘻	4				4
上記以外の処置	46		4	1	51
除細動	11			2	13
静脈路確保	114	2	8	16	140
C P A 前	51	1	3	2	57
C P A 後	63	1	5	14	83
血糖測定	75		1		76
薬剤投与	71	1	4	15	91
アドレナリン	57	1	4	15	77
エピペン					
ブドウ糖溶液	14				14
その他の応急処置	4			1	5
血圧測定	2,616	254	572	633	4,075
聴診器による聴取	977	105	96	128	1,306
血中酸素飽和度の測定	2,646	254	575	648	4,123
心電図	1,664	44	128	244	2,080
うち12誘導	2				2
計	11,561	999	2,198	2,551	17,309

※ 事故種別「その他」とは、火災、自然災害、労働災害、運動競技、加害、自損行為、転院搬送の事案。

# 応急手当普及講習会の開催状況

## 1. 講習別参加人員

種 別		開催回数	参加人員	内 容	
救命講習	普通救命講習	I	49回	1,348人	応急手当の重要性、救命に必要な応急手当 (主に成人に対する方法)
		II	13回	250人	上記講習に効果確認を加えた講習
		III	5回	78人	応急手当の重要性、救命に必要な応急手当 (主に小児、乳児、新生児に対する方法)
		計	67回	1,676人	
	上級救命講習	2回	51人	応急手当の重要性、その他応急手当 救命に必要な応急手当 (成人、小児、乳児、新生児に対する方法)	
救命入門コース	11回	418人	応急手当の重要性、救命に必要な応急手当 (主に成人に対する方法、実技のみ)		
一般救急講習	43回	1,767人	応急手当(市民からの要請に基づく項目・時間 により実施する講習)		

## 2. 過去年別 応急手当普及講習会実施状況

(回/人)

		平成25年以前	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	計	
普通救命講習	I	回数	863	48	68	52	49	1,080
		男性	9,483	643	943	761	738	12,568
		女性	11,404	488	899	654	610	14,055
		合計	20,887	1,131	1,842	1,415	1,348	26,623
	II	回数	109	8	7	8	13	145
		男性	912	110	71	75	142	1,310
		女性	628	82	52	49	108	919
		合計	1,540	192	123	124	250	2,229
	III	回数	2	3	6	5	5	21
		男性	6	3	15	4	12	40
		女性	37	48	83	62	66	296
		合計	43	51	98	66	78	336
	計	回数	974	59	81	65	67	1,246
男性		10,401	756	1,029	840	892	13,918	
女性		12,069	618	1,034	765	784	15,270	
合計		22,470	1,374	2,063	1,605	1,676	29,188	
上級救命講習	回数	27	2	1	2	2	34	
	男性	211	23	5	5	13	257	
	女性	159	13	20	28	38	258	
	合計	370	36	25	33	51	515	
救命入門コース	回数	12	10	10	10	11	53	
	男性	77	104	116	112	190	599	
	女性	94	118	113	123	228	676	
	合計	171	222	229	235	418	1,275	
計	回数	1,013	71	92	77	80	1,333	
	男性	10,689	883	1,150	957	1,095	14,774	
	女性	12,322	749	1,167	916	1,050	16,204	
	合計	23,011	1,632	2,317	1,873	2,145	30,978	
一般救急講習	回数	664	41	26	29	43	803	
	人数	31,244	1,593	1,279	1,588	1,767	37,471	

## 3. 救命講習参加者年代別内訳(一般救急講習を除く)

(人)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明	計
男性	675	132	50	68	67	62	41		1,095
女性	648	113	54	102	86	37	10		1,050
計	1,323	245	104	170	153	99	51		2,145

# 消 防 団 編



防 災 訓 練



## 消 防 団 員 数 状 況

(人)

区分 \ 階級	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	計	
								女性団員	
団 本 部	1	3							4
中 央 分 団			1	1	1	5	11		19
野 幌 分 団			1	1	1	5	15		23
北 部 分 団			1	1	1	5	12		20
大 麻 分 団			1	1	1	5	12		20
上 江 別 分 団			1	1	1	5	15		23
東 野 幌 分 団			1	1	1	5	11		19
豊 幌 分 団			1	1	1	5	11		19
東 部 分 団			1	1	1	5	15		23
女 性 分 団			1	1	1	5	16	24	24
計	1	3	9	9	9	45	118		194
定 数	1	3	9	9	9	45	124		200

## 消 防 団 員 階 級 別 勤 続 年 数 状 況

(人)

年数 \ 階級	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	計	
								女性団員	
5 年 未 満						3	68	12	71
5 年 以 上 10 年 未 満				1	1	6	23	3	31
10 年 以 上 15 年 未 満					1	10	6	2	17
15 年 以 上 20 年 未 満			1	1	1	8	8	4	19
20 年 以 上 25 年 未 満			1	1	2	5	7	3	16
25 年 以 上 30 年 未 満		1	2	1	1	8	2		15
30 年 以 上	1	2	5	5	3	5	4		25
女性団員			1	1	1	5	16	24	
計	1	3	9	9	9	45	118		194

※ 平均勤続年数 13年

## 消 防 団 員 研 修 派 遣 状 況

(人)

年度 \ 課程		平成21	平成22	平成23	平成24	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29
消防大学校 消防団長科									1	
北海道消防学校	幹部教育 指揮幹部科							1	1	1
	基礎教育							1	1	1
	特別教育 女性団員課程							1	1	
	北海道消防協会 指導員研修		1				1			1

## 消 防 団 階 級 別 年 齢 状 況

(人)

階級 年齢	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	女性団員	計
	18 歳 ～ 20 歳								
21 歳 ～ 25 歳							7		7
26 歳 ～ 30 歳							7		7
31 歳 ～ 35 歳						2	13		15
36 歳 ～ 40 歳						1	30	4	31
41 歳 ～ 45 歳					2	11	26	3	39
46 歳 ～ 50 歳						5	19	8	24
51 歳 ～ 55 歳			1	2	3	8	5	2	19
56 歳 ～ 60 歳		1	1	3	1	13	6	5	25
61 歳 ～ 65 歳	1	1	3	2	1	4	3	1	15
66 歳 ～ 70 歳		1	4	2	2	1	2	1	12
71 歳 ～ 75 歳									
76 歳 ～ 80 歳									
	女性団員		1	1	1	5	16	24	
計	1	3	9	9	9	45	118		194

※ 平均年齢 47歳

## 消 防 団 員 出 動 状 況

(人)

種別 所属	火災	風水害等 の災害	捜索	その他の 災害	演習・ 訓練	広報・ 指導	特別警戒	研修等	計
団 本 部	24	1			7	20	4	38	94
中 央 分 団	28				99	56	10	13	206
野 幌 分 団	21				94	52	8	13	188
北 部 分 団	18				96	52	10	13	189
大 麻 分 団	20				75	53	13	13	174
上 江 別 分 団	5				95	53	10	30	193
東 野 幌 分 団	9				83	57	11	30	190
豊 幌 分 団					113	43	9	27	192
東 部 分 団	16				85	74	10	19	204
女 性 分 団					41	153	10	40	244
計	141	1			788	613	95	236	1,874

# 消 防 の 沿 革

## 江別消防のあゆみと主な災害等

年号	月	消防のあゆみ	月	災害と主な火災	月	江別市のできごと
明治30			8	・江別村市街川沿・根本旅館より出火、全市街130余戸の内、105戸を焼失		・江別分署が江別警察署に昇格
	31	12				・戸長役場庁舎新築移転
				9	・石狩川水系各河川氾濫、全域浸水、農耕地被害甚大。江別地区の半分以上埋没	
						・野幌に江別消防組第2部を増設し腕用ポンプ1台を設備
	33		7	・野幌停車場焼失		・江別村農会設置
	34	5	9	・暴風雨により石狩川及び各支川氾濫、家屋及び田畑の浸水流出		・大河原文蔵、最初の道議選に当選
	37		7	・暴風雨により千歳川及び江別川氾濫		・江別市場設立
	38		5	・野幌兵村共有樹林地火災		
	39		12	・江別橋左岸以北10数戸焼失し第2部消防手河田庄三郎殉職する		・2級町村制施行 ・江別村役場庁舎新築移転
						・第1部組頭1部長1小頭2消防手35名 第2部小頭3消防手22名
	42		4	・融雪、豪雨の為石狩川、千歳川氾濫、家屋及び田畑の浸水流出		・1級町村制施行
	44		8	・暴風雨により石狩川及び田畑の浸水流出		
大正2			8	・暴風雨の為豊平川氾濫、家屋及び田畑の浸水流出		
	8		5	・融雪異常暖気の為、石狩川、千歳川氾濫、家屋及び田畑の浸水流出		・榎本農場小作地開放
	9	3	7	・降雨の為石狩川及び千歳川氾濫		・石狩大橋竣工開通
						・市内王子6番地に江別消防組第3部を増設し腕用ポンプ1台を設備
	10	12				・訓練熟達により金馬簾1条使用認可
	11	8	8	・暴風雨の為石狩川氾濫、家屋及び田畑の浸水流出		・夕張川切替新水路着工(昭和11年完工)
						・第3部番屋新築(14坪5合)
	12		4	・暴風雨の為石狩川氾濫、家屋及び田畑の浸水流出		
	15					・市内12戸地区に私設消防組結成(江別消防組第4部の前身)
昭和2	1					・私設火防溜水設置、警鐘梯子3箇所設置
						・江別火災予防組合で夜警番詰所を設置
	3		7	・市内5条2丁目より出火、15戸焼失	6	・開村50年記念祝典挙行
			9	・豪雨の為千歳川堤防決壊		・飛鳥山公認競馬場開場
	5	3	8	・石狩川、千歳川堤防決壊氾濫、家屋及び田畑の浸水流出	4	・夕張鉄道の開通 ・野幌兵村義勇救護隊創設
						・市内12戸通り私設消防組を、江別消防組第4部として編入
	6		4	・融雪、異常低気圧の為幌向川、千歳川堤防決壊、家屋及び田畑の流出		・北海道無尽会社江別出張所設立
			5	・融雪、異常低気圧の為石狩川、千歳川堤防決壊、氾濫、家屋及び田畑の流出		

年号	月	消 防 の あ ゆ み	月	災 害 と 主 な 火 災	月	江 別 市 の で き ご と
昭和7			8	・豪雨の為、石狩川各支川堤防決壊氾濫により江別市街 1.5m 浸水、田畑 4.123ha 浸水		
8			5	・融雪豪雨の為石狩川各支川堤防決壊、氾濫、江別地域の大半が被害を受ける		
9	7	・組頭以下 81 名、札幌市に於いて梨本宮殿下の御臨閲を受ける ・野幌火災予防組合が夜警番詰所を設置	1	・旧屯田兵第 2 大隊本部建物焼失		・江別太火防組合結成
10	12	・第 1 部に自動車ポンプ(フォードV8)購入配置	10	・市内 6 条 7 丁目仏壇灯明より出火、13 棟 23 戸焼失		
11	10	・第 3 部に自動車ポンプ(フォードV8)購入配置 ・第 2 部に自動車ポンプ購入配置	8	・豪雨により千歳川堤防決壊、家屋及び田畑の流出		・北海道電灯株式会社江別火力発電所設立
12	10	・江別高等女学校に於いて防護団発団式	9	・豪雨により野津幌川排水氾濫		・陸軍大演習が行われ、天皇陛下野幌原始林大沢に行幸
14	4	・消防組と防護団を統合し、警防団とする(団員 321 名)。4 部制を 4 分団制とする	4	・12 戸に於いて住宅 3 棟 3 戸焼失、2 名焼死		
15		・第 2 分団消防部に自動車ポンプ購入配置				・江別町競馬会この年をもって終止符
16	1	・規律訓練優秀賞を受ける				
18	6	・警防団に常備制を敷き、機関員を常備団員とする	3	・上江別 4 戸 2 棟焼失、母児 2 名焼死		
20	10	・役場内に消防常備本部設置	4	・豪雨により幌向川氾濫、家屋及び田畑の浸水流出	7	・王子製紙工場が王子航空機工場に転換 ・各小学校を国民学校と改称
21	6	・4 分団制を 3 分団制とし、団員 230 名。1 分団を 3 分団と合併中央分団。2 分団を野幌分団、4 分団を北部分団にそれぞれ改める。分団に消防部、予防部の 2 部を置く ・江別太私設消防団結成	7	・豪雨により石狩川、夕張川溢水、家屋及び田畑の浸水流出		・米空軍戦闘機江別上空飛来、王子航空機工場、江別発電所などに爆撃を加える
22	2	・本部に団員召集サイレン及び風速計設置	11	・市内建具工場 2 棟焼失		
	4	・消防団令制定公布	11	・暴風雨により石狩川及び各支川溢水、家屋及び田畑の浸水流出		
	7	・警防団を消防団に改組、団員 205 名	3	・元野幌煉瓦工場より出火、工場 1 棟、社宅 1 棟 5 戸焼失		・江別、札幌(五番館)間に中央バス、雁来経由で定期バス運行
23	3	・消防組織法の制定により自治体消防機構となる	4	・融雪により石狩川、幌向川溢水、家屋及び田畑の浸水流出		・江別保健所開設
	10	・大麻私設消防団結成	7	・機関車の煙突の飛び火により 5 棟焼失		・開基 70 周年記念祝典
24	4	・消防委員会設置 ・江別町火災予防条例、危険物取締条例制定	5	・上江別、煙突の飛び火により 3 棟焼失		・国立札幌病院江別診療所(現江別市立病院)開設
			2	・豊幌、煙突の飛び火により住宅 3 棟焼失		・都市計画法により元江別の一部を緑町、一番町と改める
			6	・角山、煙突の飛び火により住宅 3 棟焼失		
			6	・角山、取り灰の不始末により住宅 3 棟焼失		

年号	月	消 防 の あ ゆ み	月	災 害 と 主 な 火 災	月	江 別 市 の で き ご と
昭和 24			7	・集中豪雨により野津幌川氾濫、道路の決壊、橋梁破壊流出、田畑浸水		
25	4	・江別消防団員定員条例改正 150名とする	9	・野幌機農高校実験室より出火		・町政だより発刊
26	4	・対雁自衛消防隊結成 ・江別太自衛消防隊結成	8	・豪雨により野津幌川溢水、家屋及び田畑の浸水流出 ・江別太資材工場 3 棟焼失		・江別町野幌出張所を開設
			3	・札幌刑務所角山作業所 5 棟焼失		・江別商工会議所設立
			7	・萩ヶ岡醸造製油会社より出火 18 棟焼失		・国立江別診療所、町に移管、町立病院となる (現江別市立病院)
			9	・野幌高校道教員研修所焼失 7 名焼死		
27	2	・札幌市と消防の相互応援に関する協定の締結	11	・元野幌窯業工場より出火、2 棟焼失	7	・住民登録法施行第 1 回人口調査
28	3	・江別地区警察署と相互応援協定締結	5	・市内 3 条 3 丁目より出火、227 棟焼失、275 世帯罹災、罹災人員 1,305 名、焼損面積 6,136 坪		
29	5	・全町 30 地区に自主的に火災予防組合結成 ・市制施行により江別市消防団に改称	4	・融雪により旧豊平川排水氾濫、家屋及び田畑の浸水流失	6	・市民の自治組織として江別市火防衛生組合を結成する
	7	・札幌市と消防の相互応援に関する協定書の一部改正	5	・暴風により家屋全壊、半壊多数		
	11	・火災予防組合の結成に伴い消防団予防部を解消すると共に分団の消防部長制を廃止し副分団長及び副班長制とする	9	・台風 15 号により家屋全壊、半壊、農作物の 90%壊滅	7	・市制施行、江別市となる
30	1	・警察法の改正に伴い、新たに江別警察署と相互応援協定の締結	4	・融雪により石狩川各支川溢水、堤防決壊、家屋及び田畑の浸水流出		
	10	・殉職消防組員、河田庄三郎氏の 50 回忌を成田山光雲寺に於いて行う			8	・全道青年大会開催
	12	・東西野幌自衛消防隊結成				
31	8		2	・道立野幌高等学校宿舍 230 坪焼失	11	・野幌駅開設 ・上江別浄水場完成し江別市街地の給水開始
			4	・融雪により石狩川各支川溢水、堤防決壊、家屋及び田畑の浸水流失		
			5	・元野幌窯業会社より出火、16 棟焼失		
			9	・豪雨により野津幌川氾濫、田畑冠水 650ha		
32	5	北部分団 30 周年記念式典	5	・上江別放火により 4 棟焼失	12	・公益質屋開設
	7	・市役所階上に於いて危険物講習会、試験実施	9	・豪雨により排水、河川氾濫、家屋及び田畑の浸水 950ha		・上江別に母子寮完成
	10	・市水道に消火栓敷設、市内に 36 基敷設する				
33	6	・団本部に火災専用電話敷設			4	・野幌屯田兵第 2 中隊本部、北海道有形文化財に指定
34	1	・出初め式に於ける最後の登梯式を行う	2	・道立江別高等学校火災	5	・市内バス運行開始(江別駅前～対雁市営住宅)
	10	・消防本部及び消防署設置				
35		・消防無線電話(中短波)新設			12	・農事有線放送開始
36	10		2	・緑町建設会社寮より出火、2 棟焼失、2 名焼死		・江別駅前国道、道々中央通り舗装完了

年号	月	消 防 の あ ゆ み	月	災 害 と 主 な 火 災	月	江 別 市 の で き ご と
昭和 36			7	・集中豪雨により石狩川各支川溢水氾濫、家屋及び田畑の浸水、1,000戸		
37			1	・美原の住宅で出火、2棟焼失、4名焼死		
	8	・119番の設置 ・江別太石狩河畔にて全道防災訓練実施	8	・台風9・10号の襲来により家屋、田畑浸水1,135戸、罹災者6,487人	3 8 10	・交通安全都市を宣言 ・北海道水防訓練行われる(石狩川・夕張川合流点) ・しょう紅熱市内に広がる
38	4	・江別市火災予防条例の改正				
39	3	・江別市消防団員定員条例改正100名とする	3	・緑町アパート物置で子供の火遊びから4名焼死	8	・道営大麻団地起工式
	5	・火災保険号(ポンプ車)204号車、日本損害保険協会より寄贈される				
	10	・江別市消防創設65周年記念式典			10	・市制10周年記念式典
40	3	・江別市消防職員賞じゅつ金条例の制定	9	・台風23・24号の襲来により石狩川各支川溢水、氾濫、家屋浸水、田畑冠水		
	4	・美原自衛消防隊結成				
	7	・江別市消防団員定員条例改正110名とする	10	・野幌町の駅前商店街飲食店で出火、郵便局など2棟焼失		・野幌原始林、森林公園造成着工
	8	・江別市消防団大麻分団増設、4分団制				
41	4	・消防団に日本消防協会より竿頭綬を授与される			1	・道立消防学校完成
	9	・豊幌自衛消防隊結成	8	・集中豪雨により石狩川支川溢水、家屋浸水、田畑冠水400ha	6 12	・下水道事業着工 ・市役所新庁舎高砂町に完成
		・消防署野幌出張所及び消防団野幌分団庁舎新築移転(野幌町30番地)				
42	8	・石狩管内水防訓練大会を篠津川で実施			9	・都市等級により江別市は5級に指定される
43	7	・救急車301号車購入、救急業務開始	5	・十勝沖地震(震度4)により家屋一部破損58戸	5 6	・江別市旗を制定 ・江別市開基90年、市制施行15周年記念式典
	10	・江別警察署と救急事態に際しての相互応援協定を締結			10	・新石狩大橋完成
		・消防本部(署)の庁舎新築移転(高砂町24番地)跡地に消防署中央出張所を新設4出張所制となる			11	・野幌屯田兵村記念館完成
	11	・消防本部庁舎屋上に消防監視用テレビ設置				
	12	・消防団に北海道知事より表彰旗を授与される				
		・消防署大麻出張所、消防団大麻分団庁舎(市出張所庁舎と併設)を新築(大麻中町26番地)、4出張所制	2	・異常降雪により国道12号交通渋滞バス、一般車500台、約2,500人が被害を受ける	1 11	・市民憲章制定 ・江別市火防衛生組合解散
44	7	・岩見沢市・広島町と消防の相互応援に関する協定の締結	3	・異常降雪により交通渋滞388人救出	4	・江別太の一部を東光町と改める
45	4	・篠津自衛消防隊結成	4	・融雪により内水湛水、床下63戸、田畑浸水300ha		・江別太火防組合解散
			5	・融雪により内水湛水、床上27戸、床下48戸、田畑浸水1,078ha、道路冠水10.5km	8	・中央通り買い物公園実施
	12	・上江別自衛消防隊結成				
46	3	・江別市消防団員定員条例改正125名とする				
		・救急車302号車が日野医院より寄贈される				

年号	月	消 防 の あ ゆ み	月	災 害 と 主 な 火 災	月	江別市のできごと	
昭和 46	4	・江別市消防団上江別分団増設、5分団制			5	・重兵衛渡し渡船廃止	
	6	・消防用無線電話(超短波)新設			9	・榎本公園に対雁100年記念碑完成	
	10	・東野幌自衛消防隊結成			11	・市の花「菊」、市の木「ナナカマド」を制定	
	11	・消防署北部出張所、消防団北部分団庁舎新築移転(緑町東2丁目)					
	12	・消防署上江別出張所、消防団上江別分団庁舎新築(現上江別南町1番地25)、5出張所制					
	47	4	・八幡自衛消防隊結成			1	・東野幌青少年会館完成
		6	・広報車601号車が日本消防協会より寄贈される ・南空知消防組合と消防の相互応援に関する協定の締結				
		7	・岩見沢地区消防事務組合と消防の相互応援に関する協定の締結	9	・集中豪雨により門水湛水の為床上6戸、畑作被害18,2ha、床下24戸、道路4ヶ所		
	48	10	・東光自衛消防隊結成			12	・ゴミ粉碎処理工場運転開始
		11	・消防本部機構改革3課6係制とする				
		12	・石狩北部地区消防事務組合消防の相互応援に関する協定の締結				
	49	1	・江別市消防本部に救助隊設置			3	・江別終末処理場完成
5		・野幌森林自衛消防隊結成			6	・西野幌の一部を文京台と改める	
10		・火災保険号101号車が日本損害保険協会より寄贈される ・豊幌自治会より豊幌消防会館を寄贈される					
50	1	・札幌市と消防の相互応援に関する協定書の一部改正する	4	・低気圧の影響により家屋等の全半壊、一部破損	8	・第1回市民まつり実施	
	10	・消防本部(署)、江別電業所及び江別警察署間に専用電話を設置 ・江別市消防団員定員条例改正150名とする			10	・史跡駅通の松の伐採	
51	10	・消防団東野幌分団を増設、新築移転(東野幌本町7番地)6分団制となる	8	・豪雨により石狩川決壊、湛水、各支川溢水床上259戸、田畑浸水906ha ・台風6号の襲来により床上241戸、田畑冠水1,649ha、土木被害24ヶ所、死者1名	10	・野幌老人憩いの家開設	
		・消防署東野幌出張所、消防団東野幌分団庁舎新築(東野幌本町7番地)、6出張所制			12	・夜間急病診療所開設	
		・江別市火災予防条例の全部改正					
52	3	・消防監視用テレビ廃止					
	3	・江別市消防協力者要綱を定める			11	・石狩大橋架替工事完成	
53	4	・広報車603号車が拝野武二氏より寄贈される					
	3	・江別太自衛消防隊解散	6	・幸町木材店より出火、7棟焼失	5	・米国グレンシャム市と姉妹都市提携	
54	4	・消防本部救助隊を消防署に配置替					
	2	・消防救急指令装置導入、運用開始			7	・江別市開基100年 ・高知県土佐市と友好都市提携	
55	10	・江別消防創設80周年記念式典			3	・大麻体育館開設	
	10	・真願寺に消防顕彰碑の建立	10	・台風20号の襲来により門水湛水、床上1戸、床下23戸、田畑浸水130ha	11	・市街地東光通り東光橋完成	
55	3	・救急車(3B型)302号車が日本損害保険協会より寄贈される					

年号	月	消 防 の あ ゆ み	月	災 害 と 主 な 火 災	月	江 別 市 の で き ご と
昭和 55	4	・消防ポンプ自動車(CD-I型)205号車が織田武雄氏他より寄贈される	4	・上江別に於いて子供の火遊びから2戸1棟焼失、5名焼死		
	7	・指令車(J-36型)拝野武二氏より寄贈される			7	・江別市防災訓練行われる
56	8	・集中豪雨、台風15号の災害に際し、市内緑町第2自治会長より、感謝状授与される	2	・東野幌に於いて住宅1棟焼失、3名焼死	3	・道立総合運動公園が西野幌下学田に設置決定
	11	・集中豪雨、台風15号の災害活動により、江別市長から表彰状を授与される	8	・集中豪雨により石狩川、各支川溢水氾濫、堤防決壊の為全壊4戸、床上浸水440戸、田畑浸冠水5,509ha	4	・江別市立病院江別高等看護学院閉院
	12	・集中豪雨、台風15号の災害による防災功勞として北海道知事より消防本部に防災功勞章並びに消防団に竿頭綬を授与される		・台風15号の襲来により門水湛水、床上浸水91戸、田畑冠水1,805ha		・ごみ焼却処理場運転開始
		・ライオンズクラブ国際協会331-A地区より、水害救助用ボートの寄贈を受ける				
57	2	・江別市萩ヶ岡に消防待機宿舎を建設				
	3	・消防庁長官より消防本部に防災功勞章並びに消防団に竿頭綬を授与される	3	・浦河沖地震発生(震度4)、軽傷1名、土木被害1,000万円	4	・水道庁舎完成
	8	・緊急給水用ろ水器、日本消防協会より寄贈(市水道部に配置)			8	・北海道水防訓練行われる(石狩川河畔)
58	9	・昭和56年集中豪雨、15号台風の災害による防災功勞として、内閣総理大臣より表彰状及び功勞賞を授与される				
	5	・日赤江別市地区より救命ボートの寄贈を受ける				
	10	・日本道路公団札幌建設局と、救急業務に関する協定を締結				
59		・岩見沢地区消防事務組合と、消防の相互応援に関する協定書の全部改正				
	11	・札幌市、岩見沢市と消防の相互応援に関する協定書の一部改正			11	・北海道縦貫自動車道、札幌～岩見沢31.9キロ開通
	3	・消防用無線電話基地局の増設、石狩町、石狩北部地区消防事務組合及び南空知地区消防組合と消防の相互応援に関する協定書の全部改正			1	・江別市立病院外来新棟完成
	4	・消防本部(署)の機構改革、本部3課6係、消防署7係6出張所			2	・勤労者研修センター完成
60	11	・消防署中央出張所、消防団中央分団庁舎新築移転(市内3条1丁目)			4	・野幌若葉小学校開校
	8	・日本消防協会より電源照明用資器材搬送車503号車が寄贈			7	・北海道水防訓練行われる(石狩川大橋左岸)
		・日本損害保険協会より水槽付消防ポンプ自動車103号車が寄贈される				・市制施行30周年
61	10	・札幌市と消防の相互応援に関する協定書の一部改正				
	4	・江別市消防団員定員条例改正175名			4	・北光小学校開校
	5	・江別市消防団豊幌分団増設、7分団制	7	・見晴台店舗兼住宅1棟焼失、母子3名焼死	7	・森林キャンプ場完成

年号	月	消 防 の あ ゆ み	月	災 害 と 主 な 火 災	月	江 別 市 の で き ご と
昭和 61	8	・仮設訓練塔 1 棟を消防訓練場に設置する	11	・文京台緑町大学学生食堂新築工事現場火災、焼死 2 名、負傷者 9 名	11 12	・J R 高砂駅の開業 ・保健センター完成
62	3	・救急自動車 3 0 2 号車を購入			4	・文京台小学校開校
63	3	・化学車 1 0 4 号車を購入			3	・北海道情報大学着工
	4	・消防署の機構改革 6 出張所制を 3 出張所制とする ・江別市消防団員定員条例改正 187 名 ・消防団副団長の 2 名制			5	・江別市コミュニティセンター着工
	6	・消防団東部分団増設、8 分団制	9	・東野幌町に於いてガス爆発により住宅 1 棟 2 戸全壊、半径 130m の範囲内の 57 棟に被害		
	9	・消防庁舎建設準備委員会設置				
平成元	3	・消防庁舎建設委員会を設置			4	・北海道情報大学開学
	4	・江別市消防職員定数条例改正 102 名			8	・江別市情報図書館オープン
					9	・江別市コミュニティセンターオープン
						・第 44 回国民体育大会開催
2	4	・江別市消防職員定数条例改正 104 名 ・消防署の機構改革、副署長制を 2 課制とする			10	・江別市葬斎場オープン
					3	・第二大麻体育館オープン
					6	・江別市情報図書館と市内中学校の情報オンライン化となる
	8	・アポロキャップを導入			10	・国勢調査
3	3	・札幌市、広島町、岩見沢地区(組)、石狩北部地区(組)、及び南空知(組)との消防相互応援協定廃止			3	・北電江別発電所廃所
					4	・市郷土資料館オープン
	4	・江別市消防職員定数条例改正 105 名 ・北海道広域消防相互応援協定締結 ・江北地区自衛消防隊結成			11	・S C C 国際交流センター完成 ・人口 10 万人達成
	7	・消防本部庁舎着工				
	8	・女性消防団員 10 名採用				
4	4	・江別市消防職員定数条例改正 107 名 ・江別市消防団員定員条例改正 192 名 ・機構改革により、通信指令室、救助隊を設ける			2	・道立食品加工研究センターオープン
					4	・ふれあいワークセンターオープン
	8	・女性消防団員 5 名採用(計 15 名) ・第 21 回全国消防救助技術大会出場(千葉市)				
	10	・消防本部庁舎完成			12	・「季節の道」夏のゾーン完成
5	2	・指揮車購入				
	3	・消防本部庁舎新築移転(野幌代々木町 8 0 番地)、緊急情報システム運用開始 ・旭川ガス(株)より救助工作車 5 0 4 号車が寄贈される			4	・中央中学校開校
	4	・江別市消防団員定員条例改正 197 名			7	・陶芸の里「セラミックアートセンター」着工
	8	・第 22 回全国消防救助技術大会出場(福岡市)			10	・王子・神崎製紙合併、「新王子製紙」となる

年号	月	消 防 の あ ゆ み	月	災 害 と 主 な 火 災	月	江 別 市 の で き ご と					
平成5	10	・災害弱者緊急通報システム稼動運用開始 ・米国市長会、消防本部庁舎視察 ・女性消防団員7名採用(欠員2名)計20名	7	・石狩川水難事故、中学生男子3名水死	10	・市役所、第2・第4土曜日完全閉庁開始					
	11	・第9回全国婦人消防操法大会出場(横浜市) ・消防団副団長3名制			11	・江別市花き栽培技術指導センターオープン					
	2	・(社)江別市及び三郡医師会と、高速自動車国道等の救急・救助活動に関する協定書締結			6	・森林公園行方不明者捜索(トド山口駐車場)	4	・江別市ガラス工芸館オープン			
	3	・はしご付き消防自動車502号車(38m級)を購入					10	・市制施行40周年を迎える ・人口11万人突破 ・市役所、完全週休2日制スタート			
	4	・江別市消防職員定数条例改正111名 ・江別市消防団員定員条例改正200名					12	・陶芸の里「セラミックアートセンター」オープン ・勤労者総合福祉センターオープン			
	6	・第46回北海道消防大会開催					1	・訪問看護ステーションオープン			
	7	・北海道広域消防相互応援協定の一部改正					4	・いきいきセンターオープン ・屯田資料館オープン			
	10	・女性消防団員3名採用、計23名 ・防火管理者連絡協議会と危険物安全協会より連絡車606号車が寄贈される					10	・国勢調査により人口11万5千人突破			
	7	2					・消防ポンプ自動車(CD-II)202号車購入、中央分団配置	12	・野幌グリーンモール完成		
		4					・江別市消防職員定数条例改正113名	2	・第3回石狩川サミット開催		
		5					・救急救命士2名誕生	3	・野幌小学校新校舎完成 ・江別高校新校舎完成		
		6					・消防署大麻出張所庁舎移転新築着工	7	・第34回北海道障害者スポーツ大会開催		
		9					・消防ポンプ自動車(CD-I)207号車が日本損害保険協会より寄贈される	12	・市情報公開条例施行		
		10					・巨大地震・災害対策海外研修視察(消防長参加) ・江別市救急業務高度化推進協議会設立	4	・(財)江別市在宅福祉サービス公社事業開始 ・いずみ野小学校開校		
	8	2					・消防署大麻出張所庁舎新築移転(大麻元町192番地3)、業務を開始する	6	・森林公園行方不明者捜索(トド山口駐車場)	7	・第45回全道身体障害者福祉大会開催
		4					・消防ポンプ自動車(CD-I)を大麻分団に配置する			12	・市情報公開条例施行
		4					・江別市消防職員定数条例改正115名				
		6					・江別市消防団に北海道消防協会長より表彰旗並びに表彰状授与される				
	9	10					・江別市消防職員委員会設置される				
		12					・(社)日本自動車工業会より高規格救急自動車303号車が寄贈される				
2		・高規格救急自動車運用開始									
4		・江別市消防職員定数条例改正118名									

年号	月	消 防 の あ ゆ み	月	災 害 と 主 な 火 災	月	江 別 市 の で き ご と	
平成9	5	・札幌圏防災関係機関総合防災訓練に参加			4	・知的障害者の入所施設(えべつ朋友荘)開所	
	7	・緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練に参加			10	・えぼあホール(市民文化ホール)・大麻公民館オープン	
	12	・大型水槽車108号車を購入				・「ディサービスセンターあかしや」開所	
	10	1	・救護活動資器材搬送手動車愛称決定「救太くん」			1	・江別市農協創立50周年
		3	・自治体消防50周年記念式典参加			2	・痴呆性老人等支援連絡会議設立
		4	・消防職員定数条例改正 121名				・災害時における郵便局と江別市の協力に関する協定調印
		5	・事務改善検討委員会設立				
		6	・北海道消防協会札幌地方支部消防総合演習			4	・野幌農協創立50周年
		7	・全国消防長会北海道支部警防・救急事務研究会				・岩田政勝氏名誉市民章贈呈される
		9	・災害支援車801号車を購入			8	・土佐市友好都市20周年記念式典
		10	・江別消防創設100年記念事業				・人口12万人突破
		10	・携帯電話分散受信方式119番受信運用開始			12	・江別市立病院新築
	11	2	・高規格救急自動車302号車を購入				
		3	・高規格救急自動車2台目運用開始				
		4	・消防職員定数条例改正125名			4	・市長・市議選挙
			・機構改革、消防署の指導課を消防課に、警備課を救急救助課に改める				
			・北海道防災航空隊員派遣				
		6	・119番通報訓練装置、防火管理者連絡協議会と危険物安全協会より寄贈される	7	・道立大麻高校火災	6	・江別市ホームページ開設
		8	・第28回消防救助技術訓練大会出場(横浜市)			8	・江別市総合防災訓練行われる
		10	・第84回全国消防長会法制委員会開催	9	・台風18号により4,700万円の被害		
		12	・水槽付消防ポンプ自動車109号車を購入				
12	2	・消防団豊幌分団庁舎新築移転			2	・豊幌地区センターオープン	
		・江別市消防団に日本消防協会より表彰旗並びに表彰状を授与される					
	3	・有珠山噴火により北海道広域消防相互応援協定による応援隊派遣 述べ62隊143名			3	・資源物の分別収集開始	
	4	・江別市消防職員定数条例改正128名			4	・介護保険制度スタート	
		・消防本部に参事(防災担当)の職を設置					
		・高規格救急車移動配備開始					
	7	・北海道操法訓練大会出場(東野幌分団)					
		・江別市消防総合防災訓練					
	10	・小型動力ポンプ積載車703号車を江別出張所に購入配備			10	・野幌鉄南地区住民票等証明交付窓口開設	
					12	・いきいきセンターわかくさオープン	
						・保健センター若草町に移転	

年号	月	消 防 の あ ゆ み	月	災 害 と 主 な 火 災	月	江別市のできごと	
平成 13	1	・消防力の基準(消防庁告示第1号により)改正			2	・J R 高砂駅新駅舎・歩道橋完成 ・5 農協が合併して道央農協誕生	
	4	・江別市消防職員定数条例改正130名			3	・江別市立学校給食センター完成 ・新ごみ処理施設建設工事着工	
	9	・小型動力ポンプ積載車705号車を野幌出張所に購入配備			7	・江別市防災(水防)訓練行われる	
					8	・北海道林木育種場旧庁舎が文化庁の登録有形文化財に登録される ・中央中学校男子バレーボール部全国大会優勝	
	14				12	・J R 大麻駅バリアフリー化工事完成	
					3	・「防災あんしんマップ」全世帯に配布	
	6	・石狩川水防公開演習参加(長沼町)			4	・完全学校週5日制始まる	
					10	・江別河川防災ステーションオープン	
	15	2	・高規格救急自動車305号車購入			12	・市環境クリーンセンター「くるりん」稼動
		9	・出光興産(株)北海道製油所ナフサタンク火災に伴う北海道広域消防相互応援協定による応援隊派遣 延べ3隊24名			4	・市長市議選挙
		10	・出光興産(株)北海道製油所災害予防対策支援活動に伴う、北海道広域消防相互応援協定による応援隊派遣延べ8隊40名			5	・特別職等の専用車廃止による多用途車両(低公害車)導入
		11	・全国消防長会北海道支部予防委員会開催			8	・土佐市・江別市友好都市提携25周年式典 ・全国中学校体育大会水泳競技大会開催
16	4	・メディカルコントロール体制構築により、救急救命士による包括的指示下での除細動開始			3	・江別市中心市街地活性化基本計画策定	
	8	・出光興産(株)北海道製油所ナフサタンク火災活動に対し、消防庁長官より防災功労者表彰を授与される	9	・台風18号による強風の為軽傷者5名、街路樹等の倒木1,862本、建物等の一部損壊190件、農業被害、被害総額47,245万円	4	・第5次江別市総合計画スタート	
					9	・市制施行50周年記念式典	
17	4	・江別市他石狩管内の一部消防本部と基地の札幌手稲溪仁会病院間でドクターヘリ暫定共同運用開始			10	・防災連携消防訓練実施(東野幌本町:パルタウンのっぽろシティハウス) ・家庭ごみ収集の有料化開始 ・「江別市のレンガ」が北海道遺産に選定	
					3	・市制施行50周年記念事業の一環として、「新江別市史」刊行 ・「江別市地域福祉計画」策定 ・江別の顔づくり事業「都心地区整備基本計画」策定	
					10	・防災連携消防訓練実施(大麻沢町サンゴールドビラ)	

年号	月	消 防 の あ ゆ み	月	災 害 と 主 な 火 災	月	江 別 市 の で き ご と	
平成 17	12	・(財)日本消防協会の助成を受け、婦人防火クラブ等の民間防火組織の資器材整備の為、AED(自動体外式除細動器)一式を購入。	12	・市内野幌松並町に於いて、住宅1棟焼失、焼死者2名	11	・江別市に於いて道内初の「認知症高齢者向けグループホームの短期入所者事業利用特区」で構造改革特区に認定 ・江別市の地域再生計画『『ソーシャル・エンタープライズの拠点・メッカ』づくりを通じた地域活力コミュニティの再生』が地域再生法に基づき認定	
	18		1	・落雪事故多発 死者1名	3	・江別市行政改革大綱見直し	
				2	・救急・救助出動総数21件	9	・市民活動センターオープン
	19	10	・消防顕彰碑消防本部庁舎移設に伴う工事完了 ・緊急消防援助隊北海道・東北ブロック合同訓練参加2名			10	・防災連携消防訓練実施(江別市コミュニティセンター周辺)
		12	・具体的指示下での薬剤投与が可能な救急救命士の運用開始			12	・江別市・新篠津村合併協議会設置
	20	6	・江別・野幌・大麻出張所の各水槽へAED積載配備 ・PA連携本運用開始			2	・江別市・新篠津村合併協議会開始
		3	・「北海道消防広域化推進計画」が策定された		・硫化水素ガスによる事故多発 死者2名・負傷者3名	4	・市長・市議選挙
	21	5	・第1回石狩管内5消防本部消防広域化等実務担当者会議開催(以降、2回開催)			8	・広域消防水難連携訓練(江別河川防災ステーション前 千歳川)
		7	・北海道洞爺湖サミット開催に伴う消防特別警戒要員派遣(予防2名・警防10名)			11	・JR野幌駅鉄道高架工事着工 ・野幌駅周辺地区活性化協議会による「野幌駅周辺地区活性化計画(案)」作成
		8	・第1回石狩管内5消防本部における消防広域化並びに消防指令業務等の共同化検討委員会開催(以降、4回開催) ・第1回石狩管内5消防本部消防指令業務等の共同化作業部会開催(以降、2回開催)			8	・北海道防災総合訓練実施(江別高校跡地)
		9	・第1回石狩管内5消防本部消防広域化作業部会開催(以降、5回開催)			9	・江別市・新篠津村合併協議会廃止
		10	・石狩北部地区消防事務組合消防本部と指令業務等の共同化検討会議開催(以降、4回開催)				
	12	・水槽付消防ポンプ自動車107号車を購入			2	・市内4大学、江別商工会議所、江別市が包括連携・協力に関する協定を締結	

年号	月	消 防 の あ ゆ み	月	災 害 と 主 な 火 災	月	江 別 市 の で き ご と			
平成 21	6	・高機能消防通信指令システム 実施設計委託	12	・角山建設資材置き場より出火、3 棟焼失	4	・「第5次江別市総合計画」後 期基本計画を策定			
	8	・水槽付消防ポンプ自動車 103号車を購入 ・住宅用火災警報器設置推進本 部運用開始			7	・江別市自治基本条例スター ト			
	22	1			・災害対応特殊救急自動車 301号車を購入	9	・ねんりんピック将棋大会、江 別で開催  ・江別市防災連携訓練 (消防学校)		
	2	・有限会社トンデンファームよ りAED(自動体外式除細動器) トレーニング用マネキン等を寄 贈される			8	・J A道央 野菜選別施設 1棟 焼失	8	・常陸宮妃殿下ご臨席のもと、 第29回赤十字北海道大会開催	
	5	・江別市環境整備事業組合よ りAED(自動体外式除細動器) 1台寄贈される			9		9	・江別市防災訓練実施 (北翔大学)	
	6	・高機能消防指令システム (Ⅱ型)整備工事契約締結			8		10	・第19回国勢調査が行われ、 江別市において戦後初の人口 減少 ・鈴木章 北大名誉教授、ノー ベル化学賞受賞	
	12	・丸山産業有限会社よりAED (自動体外式除細動器)1台寄 贈される			1	・記録的な大雪により落雪事故続 発 死者1名	2	・鈴木章 北大名誉教授へ江別 市特別栄誉賞贈呈	
	23	1			・有限会社トンデンファームよ り連絡車として軽自動車1台寄 贈される	3	・東日本大震災発生により、緊急 消防援助隊北海道隊として救急 隊員2名、救助工作車1台と救 助隊員5名を宮城県石巻地区に 派遣 ・高機能消防指令システム運用 開始	3	・東日本大震災発生により被 災地へ職員派遣、物的支援を 行う(～12月まで)  ・第三中学校統合により江北 中学校廃校
	4	・緊急消防援助隊北海道隊と して救助工作車1台と救助隊員5 名を宮城県石巻地区に派遣							
	6	・機構改革、消防本部に指令課を 新設し、警防課に救急高度化担 当(主幹及び主査)を配置 ・住宅用火災警報器完全義務化 スタート							

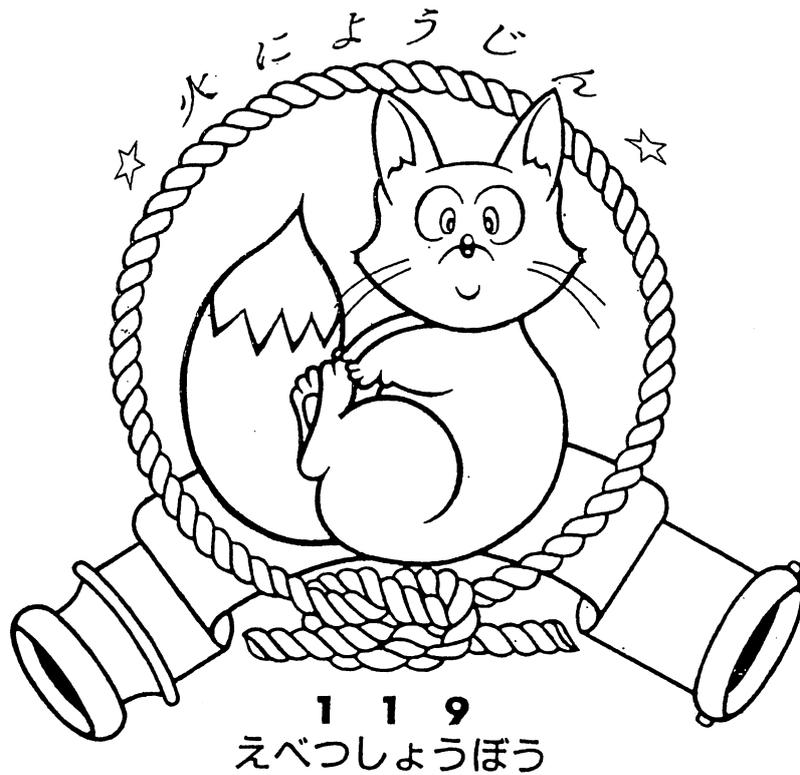
年号	月	消 防 の あ ゆ み	月	災 害 と 主 な 火 災	月	江 別 市 の で き ご と	
平成 23			8	・集中豪雨により菟ヶ岡床上浸水 1戸、他市内道路冠水箇所多数 発生			
		10			10	・江別市防災連携訓練 (市立上江別小学校) ・野幌鉄道高架に伴い新野幌 駅開業	
		11					
			12	・市内弥生町に於いて、住宅1棟 焼失、焼死者1名			
	24	7			3	・中原通(鉄西線～鉄東線間) が開通 ・大麻3遺跡出土の土偶が道 指定有形文化財に指定	
		11		9	・市内で自動販売機などへの放火 が相次ぐ		
				12	・市内大麻中町にて異臭騒ぎ、 住民66名が避難	6	・JR野幌駅舎完成
						8	・江別出身の右代啓祐選手、ロ ンドンオリンピック(陸上競 技・男子十種競技)に日本代 表で出場、順位は20位
						9	・江別市防災連携訓練 (北海道消防学校)
	25			2	・大雪のため市内小中学校が臨時 休校		
		3		3	・暴風雪により八幡地区で車両の スタックが続出	3	・6丁目通に高砂地下歩道(鉄 西線～鉄東線間)が開通
		4					
						7	・土佐市との友好都市提携 35周年を迎える
		5		8	・市内野幌町にて共同住宅1棟部 分焼、死者1名	9	・江別市防災訓練(豊幌地区) ・江別市防災フェス(野幌地 区)
		10				11	・市内元野幌の一部が大麻泉 町へ町名変更
	12				12	・9丁目通に鉄道高架下道路 が開通	

年号	月	消 防 の あ ゆ み	月	災 害 と 主 な 火 災	月	江 別 市 の で き ご と					
平成 26	1	・江別市消防出初め式を市役所前、及び市民会館で実施	3	・市内向ヶ丘にて住宅1棟全焼、死者1名		<ul style="list-style-type: none"> <li>・第6次江別市総合計画の策定</li> <li>・市政施行60周年</li> <li>・江別市防災訓練（北海道消防学校）</li> <li>・短時間での集中的な豪雨により浄水場の処理能力を超え市内の約3分の2が断水</li> <li>7・陸上十種競技アジア大会金メダルの右代啓祐選手が市民栄誉賞第一号に</li> <li>・野幌駅北口駅前広場完成</li> </ul>					
	4	・江別市消防10か年アクションプラン策定									
	10	・広報車605号車を購入 ・災害情報支援車604号車を購入									
	12	・日本損害保険協会より小型動力ポンプ積載車701号車が寄贈される									
	27	1					・水槽付消防ポンプ自動車105号車を購入し、江別出張所に配置 ・水槽付消防ポンプ自動車109号車を消防署に配置				
		3					・総務省消防庁の消防団無償貸付事業により消防ポンプ自動車205号車を借受ける				
		4					・機構改革、庶務課に人材育成担当（主査）、及び消防課に消防技術強化担当（主査）を配置				
		6					・株式会社トンデンファームより消防団員訓練用ヘルメット200個が寄贈される ・夕張川総合水防訓練				
		10					・江別市消防団女性分団設立				
		8					・台風7号により新栄通アンダーパス冠水				
	28	3					・救助工作車504号車を購入	8			<ul style="list-style-type: none"> <li>・平和のつどい初開催</li> <li>・右代啓祐選手 日本選手権6連覇（陸上競技・男子十種競技）</li> <li>・野幌駅前商業ビル完成</li> <li>・新栄団地B棟完成</li> <li>・江別第一小学校開校</li> <li>・右代啓祐選手リオデジャネイロオリンピック出場</li> </ul>
		4					・機構改革、江別出張所、野幌出張所及び大麻出張所に予防担当（主査）を配置				

年号	月	消 防 の あ ゆ み	月	災 害 と 主 な 火 災	月	江 別 市 の で き ご と
29	10	・旭川ガスより子ども用防火服20着が寄贈される	6	・市内大麻泉町にて住宅1棟半焼、死者2名		<ul style="list-style-type: none"> <li>3 ・株式会社龍田工務店より無人航空機（ドローン）が寄贈される</li> <li>4 ・健康都市宣言 ・都市と農村の交流センター“えみくる”オープン</li> <li>9 ・江別市総合防災訓練実施（江別高校跡地）</li> <li>10 ・健康都市宣言記念 えべつ健康フェスタ開催 ・グレンシャム市との姉妹都市提携40周年記念祝賀会開催</li> </ul>
	12	・日本消防協会より防災活動車が寄贈される ・小型動力ポンプ積載車706号車を大麻出張所へ配置				
	2	・化学車104号車を購入				
	8	・有限会社北野葬儀社より心肺蘇生キット「あっぱくんライト」60個が寄贈される				
	12	・指揮車901号車を購入 ・高規格救急自動車305号車を購入				



# 防火シンボルマーク



昭和63年10月15日江別市消防本部の防火シンボルマークが制定されました。

これからは、僕も皆様方同様火災予防に努め市民のアイドルとして、親しまれるよう頑張りますのでよろしくお願ひします。